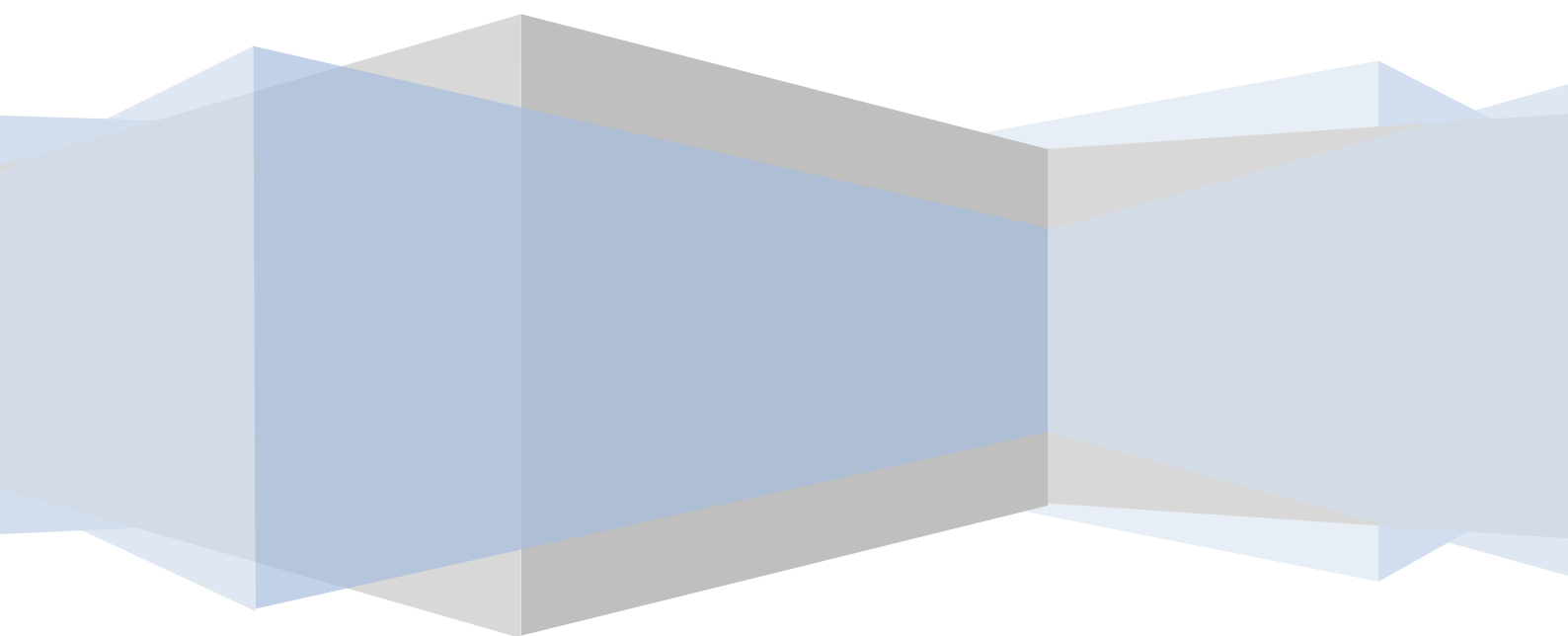


平成 30 年度 環境計画年次報告書

環境レポート【資料編】

各政策に対応する「平成 29 年度事務事業実績評価
表」まとめ



21' いいだ環境プランで掲げられた各政策に対応する事務事業実績評価表

事業No.	(※カッコ内は掲載ページ)	事業No.
14	総合的な空家対策事業 (2)	197 森林資源活用推進事業 (35)
34	交通体系整備事業 (3)	198 森づくり市民活動支援事業 (36)
46	リニア駅周辺整備事業 (4)	199 森林施設管理運営事業 (37)
142	環境衛生事業 (5)	200 森林公園維持管理事業 (38)
145	環境保全推進事業 (6)	206 起業家育成支援事業 (39)
146	環境汚染対策事業 (7)	207 中小企業金融対策事業 (40)
147	自然環境保全推進事業 (8)	239 社会基盤維持管理事業 (41)
148	環境教育推進事業 (9)	246 天竜川総合学習館管理運営事業 (42)
149	ISO14001 推進事業 (10)	250 土地利用計画推進事業 (43)
150	環境モデル都市行動計画進行管理事業 (11)	252 公園維持管理事業 (44)
151	もりのエネルギー利用推進事業 (12)	253 飯田子どもの森管理運営事業 (45)
152	新エネルギー推進リーディング事業 (13)	273 大平宿泊訓練施設管理事業 (46)
153	おひさまのエネルギー利用推進事業 (14)	312 地域の多様な学習交流支援事業 (47)
154	環境にやさしい交通社会形成事業 (15)	315 地域の環境学習交流支援事業 (48)
155	省エネルギー推進事業 (16)	326 美術博物館資料調査研究・収集保管事業 (49)
156	エコライフ啓発普及事業 (17)	327 美術博物館展示公開事業 (50)
157	旧飯田測候所活用事業 (18)	328 美術博物館教育普及・活動支援事業 (51)
159	3R 推進事業 (19)	329 プラネタリウム運営事業 (52)
160	地域環境美化推進事業 (20)	
161	ごみ適正処理事業 (21)	
162	最終処分場管理事業 (22)	
173	日本型直接支払事業 (23)	
176	元気な農村づくり推進事業 (24)	
177	堆肥センター運営事業 (25)	
188	林業振興事業 (26)	
189	森林づくり推進事業 (27)	
190	森林集約化事業 (28)	
191	森林環境教育事業 (29)	
192	森林病虫害対策事業 (30)	
193	森林鳥獣被害対策事業 (31)	
194	林道管理事業 (32)	
195	林道整備事業 (33)	
196	治山関連事業 (34)	

1 事業概要

		課名	ふるさと定住支援課	事業No.	14
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H26	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	8	新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	
			2	飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			飯田市空家等対策計画	
法令・例規等			空家等対策の推進に関する特別措置法		
			飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例		
事業目的	対象	空き家			
	意図	空き家化の防止に努め、空き家となっても、適正に管理され、必要に応じて移住者等利用希望者の活用を進めます。周辺の住環境に悪影響を与える空き家については除却等の助言、指導をします。			

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)						
		平成28年度にまちづくり委員会から報告のあった空き家の内、詳細調査未実施空き家481件の詳細調査を実施しました。空き家925件の所有者に空き家に関するアンケートを実施しました。空き家バンク、相談業務、空き家改修補助、空き家環境整備補助により空き家の活用と流通の促進を引続き行いました。空家等検討会議(5回)、空家等審議会(3回)を開催し、空き家に関する問答集を作成しました。管理不全、危険空き家等の調査、所有者への安全措置等の助言、指導を継続して行いました。		空き家詳細調査業務委託	3,186	空き家バンク相談業務・登録事前調査委託	70	空き家対策支援補助	166	空き家活用等事業補助	1,393	委員報酬・謝礼・臨時職員賃金・対策経費	2,784	その他の経費
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績							
	空き家バンク登録件数	件	13	15										
	空き家バンク成約件数	件	4	10										
	危険空き家等所有者への指導、助言件数	件	28	35										
	特に傷みのある空き家の詳細調査件数	件	72	481										
29年度決算(千円)	予算額	11,553	特定財源内訳及び補足事項											
	決算額	7,599	(そ) ふるさと寄付金											
	財源の状況	国庫支出金	0											
		県支出金	0											
		地方債	0											
		その他	10											
一般財源	7,589													

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	5	10	9	11,553	7,599	空き家対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
<p>振り返り課題認識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理がされていない空き家の増加により対応に苦慮する状況が多くなっています。 ・空き家バンク登録件数が少なく、利用希望者の希望に応え切れない状況が続いています。 ・周辺の住環境に悪影響のある空き家の除却が進まない状況です。 ・アンケート結果から所有者は空き家との認識が薄く周辺住民との意識の乖離があることが判明しました。 									
<p>上記の課題解決のための有効策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き粘り強く所有者調査と所有者への助言等を1件1件丁寧に行います。 ・所有者が判明した空き家について、所有者に個別ピンポイントで啓発を行います。 ・危険空き家解体の補助金を制度化し、危険空き家の解体を進めます。 									
<p>次年度に向けての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者の調査、空き家所有者に適正管理等の助言等を引き続き実施します。 ・特定空き家・準特定空家の認定と危険空き家解体補助を制度化し、危険空き家の危険除去を促進します。 ・まちづくり委員会や民間組織との連携、バンク運営委託で空き家の有効活用を図ります。 									

1 事業概要

事務事業名		交通体系整備事業			課名	リニア推進課	事業No.	34
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称	開始	H10	終了
		戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
分野別計画								
法令・例規等								
事業目的		対象	市民					
		意図	市民の地域公共交通利用					

2 事業内容

29年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)
	飯田市地域公共交通改善市民会議を開催し、バス・乗合タクシーの停留所新設、利用促進について協議しました。 平成28年度から引き続き、乗合タクシー座光寺上郷線の実証運行を行いました。本格運行への目標平均乗車人数2.0人に達しなかったため、運行エリアを乗合タクシー上市田線と統合しました。 地区民生児童委員協議会や高齢者クラブに出向いて乗合タクシーの利用方法等の説明を行い、利用促進に取り組みました。			地域公共交通改善市民会議負担金				1,967
				一般乗合旅客自動車運送事業補助金				97,461
				地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか				498
								0
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	運行支援するバス路線数	路線	9	9				
	運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	14				
	地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2				
	地域公共交通改善市民会議部会等開催数	回	10	9				
	バスの年間延べ利用者数	人	369,284	364,715				
	乗合タクシーの年間延べ利用者数	人	23,228	21,384				
29年度決算(千円)	予算額	104,617	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	99,926	(地) 過疎対策、(そ) 財産収入					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	34,400					
		その他	8,513					
一般財源	57,013							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	104,617	99,926	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		バス利用者が前年度比1.2% (年間延べ4,569人) 減少、乗合タクシー利用者が7.9% (年間延べ1,844人) 減少しています。引き続き、地域公共交通の周知を行い、利用促進を図ります。							
上記の課題解決のための有効策		・地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用者の意見を聞き、利用者にとって使いやすいダイヤ及び停留所の公共交通を提供します。							
次年度に向けての取り組み		・長野県が、長野市・松本市地域を対象に実施する「広域バスロケーションシステム等の実装」について、飯田市への地域拡大を見据えて検討を進めます。高齢者の移動手段の確保について、福祉部局と連携し対応策を検討します。 ・山本地域づくり委員会から要望のありました西部山麓路線での交通空白地域解消の方策について検討します。							

1 事業概要

事務事業名		リニア駅周辺整備事業			課名	リニア整備課	事業No.	46
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H27	終了	H39
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する				
分野別計画								
法令・例規等								
事業目的		対象	リニア駅周辺					
		意図	リニア開業に向け、駅周辺を整備する					

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
	リニア駅周辺の整備工程として、平成30年度都市計画決定、平成31年度からの事業化を予定しています。それに向けて、都市計画決定、事業化に必要とする駅周辺整備内の各施設の規模、配置等を検討するため、基本設計に着手しています。JR東海から平成29年度以降の用地測量、物件調査に着手する工程が示されているため、JR東海の工程に合わせて用地測量及び物件調査についても着手しています。また駅周辺整備の検討体制として、「リニア駅周辺整備デザイン会議」を設立し、検討を進めています。	リニア駅周辺整備関連業務等委託料				
用地補償関連測量等委託料						53,957
検討会議等講師謝礼						1,546
検討会議等旅費						1,255
現地事務所設置運営負担金						2,040
その他の経費						2,234

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	リニア駅周辺整備事業の基本設計	%		50			

29年度決算(千円)	予算額	210,441	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	95,680					
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	95,680						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	5	210,441	95,680	リニア駅周辺整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		トランジットハブの実現と長野県の南の玄関口、三遠南信の北の玄関口、世界へ発信する玄関口として、多様な交流の要衝地域とするため、リニア駅周辺整備デザイン会議等において検討し、また様々な関係機関と協力し、基盤となるリニア駅周辺整備を円滑に進めます。							
上記の課題解決のための有効策		駅周辺整備基本設計の検討体制としての「リニア駅周辺整備デザイン会議」「学識者専門委員会」により検討を進めます。魅力発信施設のあり方、規模、施設運営方針について、産業界、地元地域と協議を進めます。また、ワークショップ等を通して多様な方からの意見を取り入れます。							
次年度に向けての取り組み		都市計画決定及び事業化に必要とする駅周辺整備区域内の各施設について、規模・配置等の基本設計を進めます。事業用地取得のため用地測量、物件調査を進め、移転に向けた協議、説明を進めます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	142
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等	○	動物の愛護及び管理に関する法律 化製場等に関する法律 公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律		
事業目的	対象	生活環境（河川、周辺環境等）			
	意図	市民参加により良好に環境が保たれている			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	市民が快適に生活できるように公衆衛生面の維持改善に努めました。 具体的には、水辺等美化活動事業（河川清掃事業）、アメリカシロヒトリ対策事業、死亡動物回収事業、公衆浴場設備改善事業を実施しました。		水辺等美化活動事業（河川清掃事業）				2,478	
			アメリカシロヒトリ対策事業				275	
			死亡動物回収事業				2,147	
			公衆浴場設備改善事業				780	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	河川清掃参加人数	人	18,796	18,855				
	アメリカシロヒトリ防除車貸出件数(薬含む)	件	27	35				
	死亡動物回収件数	件	617	542				
	公衆浴場設備改善事業補助件数	件	1	1				
29年度 決算 (千円)	予算額	6,543	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	5,680	(県) 環境衛生費補助金(1/2)					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	390					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	5,290							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	11	1	6,543	5,680	環境衛生事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		1. 河川清掃の参加者の高齢化とそれによる重大事故が危惧されます。 2. アメリカシロヒトリ機材の老朽化による不具合が懸念されます。 3. 死亡動物回収では、路上（私有地）も回収範囲と思っている市民が多い点が課題です。 4. 公衆浴場利用者減少による公衆浴場経営環境の悪化が懸念されます。							
上記の課題解決のための有効策		1. ごみを拾うなど危険性の低い作業のみ行うように依頼します。2. 機材の定期的な維持管理を行います。3. 私有地での死亡動物回収依頼の都度、私有地は回収しない旨を周知します。4. 公衆浴場の設備改善により、快適度が向上し利用者の確保ができていと思われます。							
次年度に向けての取り組み		1. 無理のない作業をしていただくように各地区へ依頼します。2. 機材の維持管理を引続き行います。3. 私有地での死亡動物回収依頼の都度、私有地は回収しない旨を周知します。4. 公衆浴場の設備改善により、快適度が向上し利用者の確保ができるよう取り組みます。							

1 事業概要

課名		環境モデル都市推進課	事業No.	145
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始		H10	終了	
事務事業名		環境保全推進事務		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
	法令・例規等		飯田市環境基本条例	
事業目的	対象	市民		
	意図	環境保全活動を継続的に展開する		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	飯田市の環境政策を適切に行うために、環境審議会を2回開催し、飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改訂案についての審議や21' いいだ環境プラン第3次改訂版について総括を実施しました。 また、飯田市環境基本条例に基づき、年度報告書である平成29年度環境レポートを作成し公表しました。		環境審議会運営経費				81	
			事務的経費				2,336	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	環境審議会に付議された事案数	件	5	2				
	環境審議会への参加者数	人数	120	48				
	環境審議会の開催	回数	3	2				
29年度 決算 (千円)	予算額	2,896	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	2,417						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	2,417							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	10	1	2,896	2,417	環境保全一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改訂や21' いいだ環境プラン第3次改訂版の総括を行いました。その中の課題としては、会議の運営をより円滑かつ適切に行えるように、年度内での開催時期の調整等が必要と考えます。							
上記の課題解決のための有効策		飯田市の環境政策に関連し、環境審議会に付議すべき事項があり次第、限られた環境審議会の開催を有効に活用し、検討及び調整を進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		環境モデル都市行動計画の第3次改訂を含めた飯田市の環境政策を適切に行うため、環境審議会を開催する。また、21' いいだ環境プラン第4次改訂版の内容に沿って、環境レポートの作成を行い、公表します。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	146
事務事業名		環境汚染対策事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
法令・例規等			環境基本法		
			騒音規制法		
			悪臭防止法		
事業目的	対象	市民の生活環境			
	意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境を維持する			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	◇簡易浄化槽の適正な管理推進のため啓発・指導を実施しました。◇市内主要河川の水質検査実施により汚染状況を把握しました。◇地下水(井戸水)の水質等の把握しました。あわせて、リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響、関係地の地下水水位等の把握を行いました。◇自動車騒音、悪臭、その他の測定による実態の把握を行いました。◇環境汚染が発生した際には、長野県をはじめ関係機関と連携し迅速適切な対応を行いました。◇行政代執行により保管していた一般廃棄物(断熱材ウレタンフォーム)の処分を実施しました。		生活雑排水汚泥汚泥処理関連経費	1,111				
			河川水質保全関連経費	3,265				
			地下水水質管理関連経費	2,005				
			騒音・悪臭その他公害防止関連経費	5,977				
		その他の経費	0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	生活雑排水汚泥汲取量	kl	218.5	108.5				
	河川のBODの目標の達成率	%	97.7	100				
	市が斡旋する井戸水検査受検世帯数	世帯	180	183				
	騒音の環境基準達成率	%	70	60				
	悪臭の防止目標の達成率	%	100	100				
	微小粒子状物質 (PM2.5) の現状と動向	基準達成・未達成		達成				
29年度 決算 (千円)	予算額	14,069	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	12,358						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	12,358							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	11	2	2,607	1,111	生活雑排水汚泥処理事業費
2	1	4	1	5	11	3	3,427	3,265	河川水質保全事業費
3	1	4	1	5	11	4	2,045	2,005	地下水水質管理事業費
4	1	4	1	5	12	1	5,990	5,976	騒音・悪臭その他公害防止対策費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		生活雑排水汚泥の汲み取りや井戸水の検査などについては、依然として必要とされているものの、社会情勢の変化により必要総量に変化してきており、今後取り組み方針などについて見直しが必要と思われます。 河川汚濁（油類流出事案）や専用水道、アスベスト対策、エコパーク・ジオパークなど、環境課が主管課であることが適当であるか、検討がなされていない業務もあり、今後庁内での調整が必要と思われます。							
上記の課題解決のための有効策		活動指標の数値については、現状に即した見直しや修正を行います。 環境課が主管となっている業務について、法の性質や業務の内容などを精査し、必要であれば他課と調整を行います。							
次年度に向けての取り組み		生活雑排水汚泥の汲み取り事業や井戸水検査等水質保全のための取り組みは継続実施していきます。 引き続き市民生活環境の保全を心がけるとともに、リニア工事開始や社会環境変化などによる新たな公害の未然防止に努め、万が一発生した際には、速やかな処置に取り組みます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	147
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
法令・例規等			生物多様性基本法		
事業目的	対象	飯田市の自然環境			
	意図	飯田市の自然環境の保全			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	◇南アルプス自然環境保全活用連携協議会(3県10市町村)活動に取り組みました。		南アルプスユネスコエコパーク推進事業				1,339	
	◇南アルプスユネスコエコパーク、ジオパークの説明や展示を実施し、地域資源をPRをして地域活性化を行いました。		生物多様性保全事業				12	
	◇南アルプスユネスコエコパーク登山道誘導標識を設置するための支援に取り組みました。							
	◇「緑と生物多様性の重要性」の啓発を行いました。							
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
南アルプス遠山郷を訪れた人数		千人	214	210				
市内希少動植物保全団体数を把握		団体		9				
動植物調査報告件数		件	473	422				
自然環境保全啓発活動		回	24	6				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,636	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,351	(そ) ふるさと寄附金					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	500					
一般財源	851							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	13	2	1,586	1,339	南アルプスユネスコエコパーク推進事業費
2	1	4	1	5	13	3	50	11	生物多様性保全事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	エコパークやジオパークの取り組みについては、活動内容が環境保全的視野よりも観光集客目的の色合いが主であるため、今後も環境課が主管課として、事務を担っていくのが適当であるか疑問があります。								
上記の課題解決のための有効策	事務内容の見直しを行い、観光課へ業務移管できるよう調整を行います。								
次年度に向けての取り組み	南アルプス自然環境保全活用連携協議会活動への参加します。 エコパーク、ジオパークの説明や展示など、地域資源を活用した地域活性化を推進します。								

1 事業概要

課名		環境課	事業No.	148
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		環境教育推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）
法令・例規等			環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律	
事業目的	対象	市民		
	意図	環境保全について理解を深め、環境保全活動を行う意欲の増進		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	◇自然観察会を開催し、自然とのふれあいの場の創出しました。 ◇環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習の機会を設けることで、環境保全意識の高揚に努めました。 ◇小学校4年生や地域団体などを対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全意識の高揚に努めました。 ◇市内小学校4年生を対象に、自然環境保全ポスターの作製を通じて環境保全への意識高揚を図りました。また、入選作品を市内公民館や大型商店へ展示、ポスター看板を作製して各地区へ掲示することにより、市民の環境保全意識の高揚に努めました。		環境教育推進関連事業				1,166	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	自然と触れ合いを持ったことがある市民の割合	%	51.0	63.2				
	自然観察会への参加人数	人	25	10				
	環境学習会（講演会、研修会）への参加人数	人	55	456				
	環境産業公園、グリーンバレー千代の見学人数	人	1,455	1,178				
	自然環境保全ポスターの応募人数	人	656	517				
29年度決算(千円)	予算額	1,782	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,166						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,166							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	15	2	1,782	1,166	環境教育推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		毎年一定数の固定的な対象への環境教育（小学4年生にむけた自然環境保全ポスターや環境施設への見学など）は出来ていますが、裾野の広がりが見受けられません。 環境について興味関心が高い人々だけではなく、啓発としての環境学習をより進展させていくべきと考えます。							
上記の課題解決のための有効策		教育を担う関係部署との連携を強化します。							
次年度に向けての取り組み		教育委員会の専門部署との連携により、学習プログラムの増加や幼保小中などでの学習機会の増加を図ります。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	149
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H9	終了	
事務事業名		ISO14001推進事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
		第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
	分野別計画	飯田市役所地球温暖化防止実行計画			
		地球温暖化対策の推進に関する法律			
法令・例規等	長野県地球温暖化対策条例				
事業目的		対象	南信州地域の事業所、教育機関、一般家庭		
		意図	事業所は、ISO14001「南信州いいむす21」などの環境マネジメントシステムに、教育機関は、教育に特化した地域独自の環境マネジメントシステムに取り組む。また、一般家庭は、省エネ活動に取り組む。		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	南信州いいむす21の規格改正作業を行うとともに、取組み事業所への訪問支援、ヒアリングを行いました。また、地域ぐるみ環境ISO研究会を中心に民間事業者とともに夏、秋、冬の3回、環境一斉行動に取組み、参加者数を増加(前年比6,211人)させることができました。飯田市役所としてのISOの取組みについても、改めて2015年版の規格要求事項について学ぶ機会を設け、理解を深めることができました。この研修後に内部監査を行い、環境マニュアルの改正を行いました。		ISO14001推進				345
			その他の経費				0
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績
南信州いいむす21訪問支援事業所数		件	0	26			
南信州いいむす21登録・継続審査事業所数		件	24	20			
「CO2削減一斉行動週間」の実施		回	3	3			
ISO推進に係る外部研修派遣		人	7	8			
相互内部監査員数		人	70	84			
29年度 決算 (千円)	予算額	509	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	345					
	財源の 状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	345						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	16	1	509	345	環境マネジメントシステム普及事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		南信州いいむす21の全面改正作業を行うため、地域ぐるみ環境ISO研究会でプロジェクトチームを発足させ進めました。今後環境マネジメントシステムをこの地域で普及させていくためにも、よりわかりやすく、かつ環境パフォーマンスが上がる内容となるよう、全体会議8回、部門別会議19回開催し、平成30年9月のリリースに向けて準備を進めてきました。リリース後は、改正した南信州いいむす21をいかに普及していくかが課題となります。							
上記の課題解決のための有効策		平成30年9月に向けた着実なリリース及び説明と、学校等の実情に対応した新たないいむす21の構築が必要です。また、試行を行い、さらにブラッシュアップして行くことで、取り組みやすいものとする必要があります。							
次年度に向けての取り組み		実際に民間企業で試行を行い、さらにブラッシュアップするとともに、改正内容の学習会を開催し、多くの企業に呼びかけます。また、高校や短大でも取り組めるように協議を進めるとともに、実情に合った「高校版いいむす21」「短大版いいむす21」を構築するとともに、「保育園のいいむす21」「学校のいいむす21」の改正を行います。							

1 事業概要

課名		環境モデル都市推進課		事業No.	150	
会計		一般会計				
事業区分		政策	実施区分	継続		
開始		H21	終了			
事務事業名		環境モデル都市行動計画進行管理事業				
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる		
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）				
	分野別計画	第2次飯田市環境モデル都市行動計画				
		飯田市環境基本条例				
法令・例規等						
事業目的		対象	市民・事業者			
		意図	市民（地域団体）が、持続可能な地域づくりと温室効果ガスの削減のため、住民主体の再生可能エネルギー活用事業に取り組む			

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)
		1 地域環境権条例で支援する事業化のため、飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会を実施しました。	飯田市再生可能エネ導入支援審査会運営					
	2 地域環境権条例活用事業の創出を目指し、市民への意識啓発のための取組みを行いました。	政策支援訴求、関係会議での協議						405
	3 環境未来都市推進会議、中部環境先進5市会議、環境首都創造フォーラム、環境自治体会議、イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）等へ参加し、環境モデル都市としての先進的取組の水平展開を行いました。							
	4 環境政策を専用ホームページや視察等の受け入れを通じて全国に発信しました。							
	5 市域のCO2排出調査により進行管理を行いました。							
		その他の経費						0
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	再エネ導入支援審査会開催回数	回	2	2				
	地域環境権条例意識啓発研修会実施回数	回	1	3				
	環境モデル都市取組みの水平展開会議数	回	12	9				
	環境政策の情報発信回数	回	12	12				
	視察等の受入れ人数	人数	116	174				
	市域のCO2排出量調査回数	回	1	1				
29年度決算(千円)	予算額	2,184	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,373						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,373							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	1	2,184	1,373	環境モデル都市行動計画進行管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		地域環境権条例により上村小水力発電事業の条例認定を行いました。今後も引き続き地域環境権条例を行使する市民の数を増やしていくことが必要となるが、FIT制度（固定価格買取制度）の価格低下により、事業性の確保が困難となってきました。							
上記の課題解決のための有効策		FIT制度（固定価格買取制度）の価格低下により、事業性の確保が困難となってきた実情も踏まえ、価格低下の少ない水力や木質バイオマスエネルギーを中心に地域環境権条例事業の組成支援を行いつつ、現状に合致した制度の見直しも視野に検討を進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		環境モデル都市の取組みを引き続き全国へ発信しつつ、地域環境権条例事業の市民啓発と組成支援を行います。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	151
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	地域内に賦存する木質バイオマス資源を活用し温室効果ガスの削減を図る			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	公共施設への木質バイオマス活用機器の導入として、市内の小中学校に9台、市役所庁舎に1台、合計10台のペレットストーブの導入を行いました。 市民への木質バイオマス活用機器導入の支援として、ペレットストーブ4台、薪ストーブ16台の助成を行いました。 森林吸収源を生かした地域間交流の推進として、渋谷区とのみどりの環交流を夏と秋に2回行い、計70名の参加がありました。		木質バイオマス機器導入推進				5,967	
			渋谷区とのみどりの環交流				200	
				その他の経費			0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	木質バイオマス機器の新規導入	件	35	30				
	渋谷区とのみどりの環交流参加人数	人	71	160				
	公共施設への木質バイオマス活用機器導入	導入台数	18	10				
	市民への木質バイオマス活用機器導入助成	助成件数	17	20				
	森林吸収源を生かした地域間交流の推進	交流回数	2	2				
29年度 決算 (千円)	予算額	6,852	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	6,167	(県) 県産材供給体制整備事業補助金 (1/2) 2,413千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(県) 森のエネルギー推進事業補助金 (1/2) 300千円				
		県支出金	2,713	(そ) ふるさと寄附金				
		地方債	0					
		その他	500					
一般財源	2,954							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	4	6,852	6,167	もりのエネルギー利用推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		公共施設向けのペレットストーブの導入について、これまで採用した機種種の製造中止に伴い、1台当たりの単価が高くなったことで、導入目標に達することができませんでした。また、個人向けのペレットストーブ導入支援数が目標値に達しなかったことから、民間向けの助成制度の広報の更なる周知を進めることが必要と考えます。							
上記の課題解決のための有効策		これまで助成制度についてのチラシを公民館・自治振興センターへ設置し、広報いいだなどで助成制度等の周知を行っていましたが、その他の情報発信媒体についても検討します。							
次年度に向けての取り組み		引き続き、木質バイオマス利用機器の民間向けの助成制度や公共施設への導入により市内の木質バイオマスの利用を推進し、森林を通じた地域外との交流についても継続して実施することで、市内の森林資源の有効活用を進めていきます。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	152
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
事務事業名		新エネルギー推進リーディング事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的		対象	市民、事業者		
		意図	市民、事業者が小水力発電事業を推進し、売電収益を活用した持続可能な地域づくりを実施します。また、リニア時代にふさわしい低炭素な社会づくりを推進します。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	1	かみむら小水力(株)が進める小沢川事業の許認可取得に係る業務支援を継続的に行いました。また、地域環境権条例事業として認定し、飯田市再生可能エネルギー推進基金から10,000千円の貸し付けを行いました。	小沢川小水力発電事業化支援					2,610
2	千代地区のマイクロ水力事業は、29年度末をもって実証実験を終え、地元関係者と協議した結果、発電機器一式を移管することを決定しました。伊賀良井でのマイクロ水力事業は、平成30年度途中まで昨年同様に、継続的に実証実験を行い、その後本格的な売電事業を行うため準備を進めます。	千代地区マイクロ水力事業化検討					394	
3	低炭素な駅周辺整備のためのリニア駅周辺エネルギー自立可能性調査を行いました。	リニア駅周辺エネルギー自立可能性調査					5,357	
		その他の経費					0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	かみむら小水力(株)経営会議への参画	回	4	48				
	マイクロ水力発電事業化検討回数	回	26	12				
	リニア駅周辺エネルギー自立可能性調査実施	回	0	1				
	リニア駅周辺整備検討回数	回	4	6				
29年度決算(千円)	予算額	9,163	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	8,361	(そ)ふるさと寄附金					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支支出金	0					
		地方債	0					
		その他	1,594					
一般財源	6,767							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	5	9,163	8,361	新エネルギー推進リーディング事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		小沢川小水力発電事業は、より事業性を高めるため見直しを行いました。そのため、再度許認可取得の関係機関協議を行う必要があります。また、会社は適切な時期に資金調達を行う必要があり、今後も市の積極的な支援が必要となります。また、千代マイクロ水力事業は、実証実験を終え、設備等の地元関係団体への移管を進めます。伊賀良井マイクロ水力事業は事業化を目指すため、安定的な事業ができるよう検討を進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		小沢川小水力発電事業は、早期に関係機関との協議を進める必要があります。また、資金調達についても市の基金貸出を行い、継続的な支援を行います。千代マイクロ水力事業は、覚書を締結し円滑な移管を進めます。伊賀良井マイクロ水力事業は、事業化に向けた協議を進め、地域環境権条例の認定に取り組みます。							
次年度に向けての取り組み		小沢川小水力発電事業は、許認可協議を進め事業化に取り組む他、市からの基金貸付け手続きを進め、会社の事業資金調達のための融資交渉の支援を行います。千代マイクロ水力事業は、覚書の締結に取り組みます。伊賀良井マイクロ水力事業は、地域環境権条例の認定手続きを進めつつ、庁内関係部署との調整を図ります。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	153
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H9	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
	分野別計画	第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
飯田市環境基本条例					
法令・例規等					
事業目的		対象	市民		
		意図	太陽光エネルギーを発電や熱として利用することで化石燃料使用の削減と省エネ意識の高揚を図り、温室効果ガス排出量を削減する。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)
	地球温暖化防止に向けた取組として太陽エネルギー利用機器の設置補助を行い、太陽光発電設備201件、蓄電システム20件（太陽光発電設備と同時設置を含む）、太陽熱温水器21件の設置に対する補助金の交付を行いました。 メガソーラーいいだPR施設に係る設備の維持管理を行い、太陽光発電の普及啓発に取り組みました。 地域の民間事業者との公民協働による太陽光発電事業を推進しました。	太陽光発電設備設置補助						
太陽熱温水器設置補助							630	
太陽光市民共同発電グリーン電力使用料							9,166	
メガソーラーいいだ運転補助、PR施設管理他							3,516	
その他の経費							0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	太陽光・蓄電システム設置補助金交付件数	件	233	203				
	太陽熱温水器設置補助交付件数	件	27	21				
	メガソーラーいいだ維持管理出勤回数	回	17	21				
	メガソーラーいいだに係る補助金交付金額	円	2,903,872	2,535,823				
	市民共同発電事業による電気買入れ金額	円	9,380,759	9,154,374				
29年度決算(千円)	予算額		33,912					特定財源内訳及び補足事項 (そ) 市民共同発電売電収入 4,891千円 (そ) ふるさと寄附金 500千円
	決算額		32,699					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	5,391					
一般財源		27,308						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	3	33,912	32,699	おひさまのエネルギー利用推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		太陽光発電設備や蓄電システム、太陽熱温水器の普及事業を通じ、設置した市民や民間事業者との協働を実現することができ、温室効果ガスの削減に効果がありました。太陽光発電設備の補助事業は、FIT法の改正で国の設備認定に係る時間が大幅に増加し、目標件数の200件を上回る結果となりました。固定価格買取制度の買取価格が下落した影響により、太陽光発電設備の普及率の伸びが鈍化傾向にあるため、普及促進のための新たな取組が必要となります。							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・従来の補助制度の告知方法に加え、公共放送、地域情報誌等を活用して市民や民間事業者へ広く周知を行います。 ・補助対象者の補助金申請に漏れがないよう受付期間内の継続的な補助制度周知に努めます。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の要望を聴取し、他の自治体の取組を参考にして、ニーズに則した補助制度の見直しを行います。 ・補助制度の告知媒体及び告知回数を増やし、設置事業者その他の補助対象者へ広く周知することに努め、太陽エネルギー利用機器の更なる普及促進を目指します。 							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	154
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○ 飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
		第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
法令・例規等	飯田市環境基本条例				
事業目的	対象	市民、事業所、行政			
	意図	ノーマイカー通勤や公共交通の利用により、低炭素な移動手段への転換を推進することで、温室効果ガス排出量を削減する			

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地球温暖化防止に向けて取り組んでいるノーマイカー一斉行動を支援し、事業所・市民・行政が一体となり、地域ぐるみで温室効果ガスの削減への取組みを行いました。 低炭素な交通手段への転換を目的とした、自転車市民共同利用システムの運営を行い、ジテツウプロジェクトの利用者増進を図る取組を実施しました。		自転車市民共同利用システム運営				2,574	
			低炭素車両の維持管理				158	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	ノーマイカー通勤一斉行動参加者数	人	12,911	20,628				
	自転車市民共同利用システム年間走行距離	km	101,562	90,592				
	ジテツウプロジェクト貸出施設数	個所	19	17				
	ジテツウプロジェクト運用貸出人数	人	37	62				
	自転車利用普及啓発イベント実施回数	回	1	1				
	TOJでの自転車利用普及啓発回数	回	1	1				
	その他自転車イベントへの協力	回	2	6				
29年度決算(千円)	予算額	2,848	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	2,732	(そ)諸収入(レンタサイクル使用料)					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	221					
一般財源	2,511							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	6	2,848	2,732	環境にやさしい交通社会形成事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカー通勤については、昨年度よりも参加者数が増加し、年度目標の参加者数を大幅に上回る結果となりました。 ・自転車市民共同利用システムによる自転車の貸出しは、車両のメンテナンスにかかる期間が増えた影響で、昨年度に比べ利用距離が減少しました。長期貸出し事業は、自転車の利用距離を伸ばすことに貢献していますが、自転車市民共同利用システムの周知及び効率的な貸出し方法の検討が必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・経年による自転車の劣化が懸念されるため、貸出し車両の見直し及び計画的な部品交換を行います。 ・拠点貸出自転車の配置見直しと、自転車普及イベントによる事業の周知を行い、日常的な自転車利用の促進を図ります。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の経年劣化への対応として、点検業者の専門的知見から貸出し車両を見直し、必要に応じて車両の入れ替え、部品交換等を行いながら、今後の自転車市民共同利用システムの運営方針について検討します。 ・次世代車両の方針、EV充電施設の公共施設への配置計画について検討します。 							

1 事業概要

課名		環境モデル都市推進課	事業No.	155
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		省エネルギー推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画
法令・例規等			都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法） 長野県地球温暖化防止条例 飯田市環境基本条例	
事業目的	対象	市民、事業者		
	意図	地域の産業界を中心に、地域の気候風土を活かした省エネルギー住宅の飯田独自仕様の構築と流通を含めた仕組みづくりを行う。また、省エネルギー住宅改修への支援制度の構築を目指す。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)
	1 日本都市計画学会を母体とした有識者と地元若手建築士、飯田市の職員による「低炭素都市づくりとエネルギー対策の推進に関する自治体支援プログラム」により、ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）の飯田モデルの検討を進めました。 2 省エネ住宅の普及及び面的エネルギー街区の創出に向けた先進事例視察を行いました。		省エネ建築補助制度の研究					185
							0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	ZEB/ZEH研究会・普及活動の実施回数	回	7	12				
	先進地事例視察	個所	1	1				
29年度決算(千円)	予算額	251	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	185	(そ)ふるさと寄附金					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	100					
一般財源	85							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	7	251	185	省エネルギー推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		「低炭素都市づくりとエネルギー対策の推進に関する自治体支援プログラム」の活動を中心に、地域の気候風土に合った飯田版ZEH仕様の検討を進め、併せて市と日本都市計画学会共同で市内3,000㎡以上の建物へエネルギー実態調査を行いました。また、面的なエネルギーマネジメントの知見等を得るため、街づくりエネルギーマネジメント推進協議会へ加入し、活動を行いました。							
上記の課題解決のための有効策		飯田版ZEH仕様基準の構築に併せ、流通のしくみづくりを並行して進め、市民にとっての省エネ改修の強い動機付けとなる様に工夫しながら検討を進めます。							
次年度に向けての取り組み		多方面への意見聴取を行い、地元若手建築士会を中心に飯田版ZEH仕様基準の構築検討及び評価制度の構築検討を行います。							

1 事業概要

課名		環境モデル都市推進課	事業No.	156
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始		H21	終了	
事務事業名		エコライフ啓発普及事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画
法令・例規等			飯田市環境基本条例	
事業目的		対象	市民、市民団体	
		意図	市民が飯田市21世紀環境共生型モデル住宅（エコハウス）の魅力を感じ、エコライフを实践、住宅の省エネルギー化を図る。また、市民団体が地球温暖化対策に関連した活動に主体的に取り組む。	

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	日常生活における低炭素活動の普及を図るため、エコハウスを運営し、エコカフェ事業、エコライフコーディネーターによる啓発事業などを行いました。 また、飯田地球温暖化対策地域協議会の運営及び支援を行いました。		エコハウスの管理運営				3,160	
			飯田地球温暖化対策地域協議会への補助				10	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	エコハウス来場組数	組	2,530	2,197				
	エコハウス来場数	人	6,866	6,060				
	エコカフェ事業実施回数	回	61	63				
	エコカフェ事業参加者数	人	984	939				
	エコライフ普及啓発・広報掲載回数	回	12	12				
	各種団体との協働によるエコライフ普及啓発	回	1	1				
	協議会による交流事業及び会議の実施	回	15	17				
協議会の知識向上のための研修視察等	回	1	1					
29年度 決算 (千円)	予算額	3,176	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	3,170	(そ) 諸収入（市有物件災害共済金）					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	33					
一般財源	3,137							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	9	3,176	3,170	エコライフ啓発普及事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> エコハウスの来場者数が減少傾向にあるため、増加させるための取り組みが必要です。 飯田地球温暖化対策地域協議会の活動のさらなる活性化が必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> エコハウスでの実施事業その他の事業に関する情報発信を充実させ、県外からの来場者の増加に繋がります。 飯田地球温暖化対策地域協議会の活動として、毎月定例会を開催するなど会員相互の意識啓発や情報交換を行い、多様な主体と協働で温暖化防止に取り組めます。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> エコハウスについて、広報やブログでの情報発信を行い、引き続き来場者数の増加を目指し、エコハウスをPRするとともに中心市街地の賑わいの創出に繋がります。 飯田地球温暖化対策地域協議会の活動と組織強化に向けて支援し、温暖化防止活動を推進します。 							

1 事業概要

課名		環境モデル都市推進課		事業No.		157	
会計		一般会計					
事業区分		経常		実施区分		継続	
開始		H26		終了			
事務事業名		旧飯田測候所活用事業					
根拠	主要区分	主 記号 計画等名称					
	戦略計画						
	分野別計画	○ 飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）					
		第2次飯田市環境モデル都市行動計画					
	法令・例規等	飯田市環境基本条例					
事業目的	対象	市民、地域団体					
	意図	旧飯田測候所を拠点として環境人材育成とコミュニティ活動が展開される。					

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	旧飯田測候所を適切に管理し、環境教育の拠点となる事業及び地域と協働したコミュニティ活動を創出するよう運営を行いました。		旧飯田測候所の管理運営				5,273	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	施設来館組数		組	256	250			
	施設来館人数		人	2,467	2,538			
	施設を活用した環境学習事業等の回数		回	33	34			
	地区住民による施設を活用した会合等の回数		回	21	21			
	施設修繕にかかった経費		円	759,240	247,320			
29年度 決算 (千円)	予算額		5,275	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		5,273	(そ) 建物使用料 960千円				
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 土地使用料 6千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	966					
一般財源		4,307						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	11	5,275	5,273	旧飯田測候所活用事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・施設の老朽化などにより修繕を必要とする箇所があり、維持管理費が発生しています。							
上記の課題解決のための有効策		・利用者が安全に利用できるよう対策を実施し、必要箇所の修繕を行います。							
次年度に向けての取り組み		・来場者の安全を確保するため、老朽化した施設の一部を計画的に整備します。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	159
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
				飯田市分別収集計画	
法令・例規等	○		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
			循環型社会形成推進基本法		
				容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
事業目的	対象	市民			
	意図	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	・容器包装リサイクル法に基づき、再生利用可能な資源の収集運搬を実施しました。 ・広報いいだ、ごみリサイクルカレンダー等で、資源ごみの適正な分別と排出方法を周知しました。 ・資源物回収団体からの38件の補助金申請に対応し、支援を行いました。 ・生ごみ処理機器を購入した世帯に対し、97件の補助を行いました。		3R推進啓発経費				3,350
			ごみ処理費用負担制度関連経費				16,281
			資源回収事業補助金				2,523
			容器包装リサイクル回収業務関係経費				43,547
			リサイクルステーション管理事業経費				2,816
			生ごみ処理機器購入費補助金関連経費				1,625
			生ごみ収集運搬業務経費				5,723
	その他の経費			0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量 （家庭系一般廃棄物）	g	544	535.15			
	ごみ収集方法の周知世帯数	世帯	39,804	39,899			
	資源ごみ（プラ）収集運搬日数	日	53	52			
	資源ごみ（金属）収集運搬日数	日	24	24			
	リサイクルステーション開催日数	日	48	48			
29年度 決算 (千円)	予算額	82,004	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	75,865	その他				
	財源の 状況	国庫支出金	0	ごみ処理手数料(一部) 53,381千円			
		県支出金	0	ガラスびん売却代 37千円			
		地方債	0	古鉄売却代 99千円			
		その他	70,187	PET再商品化還元金 2,190千円			
一般財源	5,678	容器包装再商品化合理化還元金 5,420千円					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	10	1	23,397	22,153	リサイクル収集推進事業費
2	1	4	2	1	10	2	48,870	46,363	容器包装リサイクル事業費
3	1	4	2	1	10	3	4,014	1,625	生ごみ処理機器購入費補助事業費
4	1	4	2	1	10	5	5,723	5,722	家庭生ごみ分別収集推進事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・リサイクル対象品目への一層の分別促進を行い、「燃やすごみ」「埋立ごみ」の減量推進が課題です。							
上記の課題解決のための有効策		・ガラスびんのリサイクルによる排出を推進します。 ・小型家電のリサイクルを推進していきます。 ・容器包装プラスチックリサイクル回収について、一層の適性化、かつ回収量の増加を目指します。							
次年度に向けての取り組み		・ガラスびんリサイクルの新たな回収方法を模索します。 ・小型家電類のリサイクル方法について、回収ルート等検索していきます。 ・容器包装プラスチック回収指定袋のサイズを再度見直します。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	160
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
事務事業名	地域環境美化推進事業				
	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画			
飯田市分別収集計画					
法令・例規等	○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
	飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例				
事業目的	対象	一般廃棄物			
	意図	不法投棄とポイ捨て等の防止			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・春と秋に全市一斉行動日を設けて、道路等のごみ拾いを行い地域の美化活動を実施しました。子供にも参加を呼びかけて大人と一緒に取組みました。 ・市内20地区に1名ずつ飯田市不法投棄パトロール員を委嘱し、地区内の環境美化重点路線を中心に不法投棄の監視活動を行いました。 ・各地区まちづくり委員会によるごみ分別に係る啓発、不法投棄物の回収、不法投棄防止施設の整備等に対して補助金を交付し、その活動を支援しました。		環境美化活動支援経費				128	
			地域環境美化推進事業補助金				3,055	
			不法投棄パトロール関連経費				2,127	
			不法投棄・ポイ捨て等防止関連経費				4,734	
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
		環境美化活動に取り組んだ市民等の割合（市民等…市民、地域、団体、事業者）	%	31.2	30.7			
		不法投棄パトロール実施日数	日	459	467			
		環境美化活動支援数	件	14	17			
29年度 決算 (千円)	予算額	12,826	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	10,044	その他					
	財源の 状況	国庫支出金	0	ごみ処理手数料 9,078千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	9,078					
一般財源	966							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	11	1	4,599	3,183	環境美化推進事業費
2	1	4	2	1	11	2	8,227	6,861	不法投棄対策事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・粘り強く不法投棄防止への取り組み、啓発を続けていくことが大切です。							
上記の課題解決のための有効策		・ごみの適正処理が困難で、結果不法投棄につながったとすれば、非常に不幸なことです。適正処理が困難な原因をできるだけ排除するような、ごみ収集体制を構築していきます。 ・不法投棄を許さない、監視の目を絶やさないよう努めます。							
次年度に向けての取り組み		・不法投棄防止パトロール員、そして各地区の不法投棄防止への取り組みを支援していきます。 ・不法投棄の動機を探り、適正処理への誘導策を検討します。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	161
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
				飯田市分別収集計画	
法令・例規等	○		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
			循環型社会形成推進基本法		
			特定家庭用機器再商品化法		
事業目的	対象	一般廃棄物			
	意図	着実な収集運搬及び適正な処理			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・稲葉クリーンセンターへの移行に伴い、ごみの分別区分を大きく変更しました。 ・ごみ分別の変更内容の周知のため、H29.9月～3月分のごみリサイクルカレンダーを臨時作成し、配布しました。 ・同じく新焼却場稼働に伴い、集積所管理、ごみ回収ルートなどを見直し、ごみ収集の最適化を図りました。 ・粗大ごみの戸別収集事業の回収対象に、リサイクル家電4品目を新たに加え、排出困難者への利便性を高めました。		ごみ適正排出管理関連経費				4,690	
			ごみ収集運搬業務経費				277,064	
			粗大ごみ戸別収集運搬業務経費				425	
			ごみ・リサイクルカレンダー印刷配布経費				11,070	
			ごみ集積所管理事業経費				6,683	
	その他の経費					0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量 （家庭系一般廃棄物）	g	544	535.15				
	ごみ排出方法の周知世帯数	世帯	39,804	39,899				
	ごみ集積所管理日数	日	259	257				
	ごみ収集運搬日数	日	259	257				
	リサイクルステーションごみ回収日数	日	48	48				
29年度 決算 (千円)	予算額	301,223	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	299,932	その他					
	財源の 状況	国庫支出金	0	一般廃棄物処理業許可手数料 129千円				
		県支出金	0	粗大ごみ戸別収集処理手数料 508千円				
		地方債	0	ごみ袋広告掲載料 1,080千円				
		その他	1,789	ごみ袋売却代 72千円				
一般財源	298,143							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	10	1	301,223	299,932	ごみ収集処理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・家庭からの廃棄物の排出に際し、適正かつ利便性の向上が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・ごみ排出方法について、市民への周知を複数の手法を用いて進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		・ごみ分別排出の方法を、各ライフステージに応じた伝達方法を構築し、浸透させていきます。							

1 事業概要

事務事業名		最終処分場管理事業		課名	環境課	事業No.	162
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）				
		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画					
		飯田市分別収集計画					
法令・例規等	○	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
		廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
事業目的		対象	市内から発生する家庭系一般廃棄物（埋立ごみ）				
		意図	適正な処理、水質の管理				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	9月稲葉クリーンセンター稼働に伴う、ごみの分別方法の変更とその徹底を行いました。		埋立ごみの適正処理				43,927	
	行政代執行ごみの年度内処理を行いました。		水処理施設の維持管理				15,580	
	イタチガ沢最終処分場の廃止に向け取り組みました。		旧処分場の維持管理				2,949	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	年間受入量（火災ごみ、焼却灰を除く）	t	2,202	1,650				
	年間埋立量（覆土を除く）	t	3,377	2,500				
	再資源化量	t	78	50				
	水質検査回数	回	12	12				
29年度 決算 (千円)	予算額	66,721	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	62,456	(そ) 最終処分場搬入ごみ処理手数料3,254千円、雑入327千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	3,581					
一般財源	58,875							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	11	4	66,721	62,456	一般廃棄物最終処分場管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		9月の稲葉クリーンセンター稼働に伴い、埋立ごみの分別方法が変更となりましたが、混合物に関する整合性がとれていません。また、埋立ごみは減少したものの焼却灰の受入量が倍増し処分場の余命に影響が少なからずあります。行政代執行のウレタンごみは、年度内に全て焼却処分することができました。イタチガ沢最終処分場については廃止することができました。							
上記の課題解決のための有効策		稼働後1年間の統計結果を基に余命年数を算出するので、焼却灰の処分方法について協議します。稲葉クリーンセンターにおいて受入れ出来ない混合物の処分方法について検討していきます。							
次年度に向けての取り組み		組成調査等の実施と各種分析結果に基づき、処分場の余命年数を算出し地元へ提示します。							

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	173
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
事務事業名		日本型直接支払事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017		
			農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画		
	法令・例規等		農業の有する多面的機能の発揮に関する法律		
事業目的		対象	生活環境や景観等、農業の持つ多面的機能		
		意図	共同管理による農地の保全、生活環境や景観等の多面的な機能維持		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	農地を維持・保全することを前提に、地域単位で水路の泥上や植栽等による農村環境活動、水路・農道などの補修や更新を行う12組織に対して、多面的機能支払交付金を交付し活動を支援しました。 また、急傾斜地など農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続する17組織に対して、中山間地域等直接支払交付金を交付し活動を支援しました。 化学肥料及び化学合成農業を使用しない有機農業に取り組んだ「南信州ゆうき人」（生産者2名）の取組を支援しました。		多面的機能支払交付金				17,404	
			同 推進事務経費				147	
			中山間地域農業直接支払事業交付金				33,308	
			同 推進事務経費				326	
			環境保全型農業直接支払交付金				40	
その他の経費						0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	多面的機能支払交付金対象面積	ha	377.1	375.3				
	中山間地域等直接支払交付金対象面積	ha	198.3	202.7				
	環境保全型農業直接支払交付金対象面積	a	97	50				
29年度 決算 (千円)	予算額	53,062	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	51,225	(県) 多面的機能支払交付金(国1/2、県1/4) 13,053千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(県) 多面的機能支払推進交付金(10/10) 140千円				
		県支出金	37,206	(県) 中山間地域等直接支払事業交付金(法指定 国1/2、県1/4、特認 国1/3、県1/3) 23,820千円				
		地方債	0	(県) 中山間地域等直接支払推進事業交付金(1/2) 163千円				
		その他	0	(県) 環境保全型農業直接支払交付金(国1/2、県1/4) 30千円				
一般財源	14,019							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	16	1	33,678	33,634	中山間地域等直接支払事業費
2	1	6	1	3	34	1	19,224	17,551	多面的機能支払交付金事業費
3	1	6	1	4	25	1	160	40	人と環境にやさしい農業推進事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金は、新たな活動組織が立ち上がっておらず、共同活動で農地を維持、活用する組織を増やすことが課題です。環境保全型農業直接支払交付金は、取組面積が減少しており、取組団体の構成員と取組面積を増やすことが課題です。							
上記の課題解決のための有効策		多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金は、農地を守る意義を地域に説明し、地域全体で農地を管理し活用する方向への検討が必要です。環境保全型農業直接支払交付金は、この地域は畜産が盛んであることを踏まえ堆肥の使用を推進する取組と合わせた広報活動を行うなど、農業関係団体への働きかけが必要です。							
次年度に向けての取り組み		多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金は、地域に対し制度を広報し、長期に渡り農業生産、景観形成等が図られるよう意見交換等を進めるほか、活動組織の理解が深まるよう制度の説明を行います。環境保全型農業直接支払交付金は、環境保全型農業への関心が高まるよう農業者等に制度を広報し、取組団体には制度の説明を行い理解を深めます。							

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	176
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H29	終了	
事務事業名		元気な農村づくり推進事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017		
	法令・例規等				
事業目的		対象	女性農業者、中山間地域の農家、幼稚園・保育園園児、小学校児童、農業体験施設		
		意図	リーダーの育成、地域農業の課題解決、遊休農地の活用、食農教育による啓発、都市住民との交流促進		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	<p>食ごよみ実践講座は、24名の受講があり、年間10回の講座をとおして飯田下伊那地域の行事食、郷土食を実践しました。上村体験農園施設を適正に管理したほか、施設の活用について地元と話し合い、短期利用（お試し住宅）に取り組むこととしました。施設利用者2名のほか地域外の応援ボランティア13グループが下栗地区の遊休農地の耕作支援活動に参加しました。</p> <p>女性リーダー育成講座は3年目を迎え、当初からのメンバーを対象に、情報交換と身近な女性グループや支援策を紹介する場を設け6名が参加しました。</p>		<p>食ごよみ実践講座運営費 96</p> <p>中山間地域振興プロジェクト事業 600</p> <p>上村体験農園施設管理費 542</p> <p>その他の経費 0</p>					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	女性リーダー育成講座受講者数	人	41	30				
	保育・幼稚園、小学校における食農教育支援	園・校	7	7				
	下栗応援団による遊休農地耕作支援面積	a	50	50				
	体験施設利用者数	人	3	2				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,756	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,238	(そ) 上村体験農園施設使用料					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	840					
一般財源	398							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	33	1	150	96	元気な農村づくり推進事業費
2	1	6	1	3	32	1	600	600	中山間地域振興プロジェクト事業費
3	1	6	1	10	10	3	1,006	542	上村農業施設管理費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>講座受講生については、講座終了後の支援について検討する必要があります。</p> <p>体験農園施設5棟のうち3棟が空いており、利用者を増やす必要があります。利用者からは施設使用料が高いという意見が出されています。</p> <p>女性リーダー育成講座は、目指す物に対する思い等に差があるため、個々の希望に添った対応が必要です。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>関係機関と連携し、講座受講後の活動の広がりを検討します。</p> <p>H30年度から体験農園施設の短期利用（お試し住宅）をスタートし、地域の魅力に触れてもらうことで、利用者の増加や交流の活性化を通じた地域振興につなげていきます。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>下栗地区と協働して受入体制を整え、体験農園施設の短期利用の拡大に取り組みます。また、施設使用料の見直しのための調査等を行います。</p> <p>女性リーダー育成は、引続き交流の場を設け情報提供をするとともに、段階に応じて専門スタッフにつなげていきます。</p>							

1 事業概要

事務事業名 堆肥センター運営事業		課名	農業課	事業No.	177	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017			
	法令・例規等					
事業目的	対象	食べ物の残さ（生ごみ）				
	意図	リサイクルによる良質な堆肥の生産				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	家畜排せつ物、生ごみ、きのご厩培地から堆肥を生産し、ユニー及びJAみなみ信州と連携したリサイクルループ事業に取り組み、JAねぎ部会へ約77トンの堆肥を販売しました。稲葉クリーンセンターの稼働によって家庭生ごみの搬入は無くなりましたが、良質な堆肥の生産を維持するため、代替となる事業系生ごみの確保に努めました。周辺への環境影響を把握するため、臭気・水質検査を実施し、環境に配慮した健全運営に向けた支援を行いました。長期的視点に立った施設の管理運営体制を構築するため、機械設備等の動産に関しては(有)いいだ有機が、不動産については市が費用負担するという方向性を確認しました。		管理運営業務委託料				496	
			環境影響調査委託料				62	
			借地料				135	
			保険料				22	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	堆肥生産量	t	2,087	2,057				
	生ごみ搬入量	t	697	722				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,348	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	715						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	715							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	25	4	1,348	715	堆肥センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		今後見込まれる施設・設備の老朽化に伴う大規模修繕を見据え、長期的視点に立った施設の管理運営を実施していく必要があります。 原料の安定的な確保による良質な堆肥生産と、堆肥販売を通じた「食農循環」の推進を図ることが重要です。							
上記の課題解決のための有効策		長期的視点に立った施設の管理運営体制を構築するため、(有)いいだ有機との協議を進めていく必要があります。 堆肥の販売を通して、消費者と農業者をつなげる「食農循環」の認知度の向上に取り組む必要があります。							
次年度に向けての取り組み		長期的視点に立った施設の管理運営体制を構築するため、引き続き(有)いいだ有機との協議を進めていきます。 生産団体等との連携を深めて堆肥のさらなる販路拡大に努めるとともに、堆肥の販売を通して、市内の消費者と農業者をつなげる「食農循環」の認知度の向上を図ります。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	188
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		林業振興事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
			21'いいだ環境プラン	
法令・例規等				
事業目的	対象	林業関係者、従事者、林業関係団体 財産区		
	意図	林業の活性化 財産区の運営が円滑に処理される		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	林業現場の従業員を対象に架線系技術習得研修会の実施しました。 南信州森林認証協議会に参加し、飯田市上郷野底山財産区所有森林が森林管理認証を取得しました。		各種団体負担金				2,790	
			臨時職員賃金、事務所経費、研修旅費				5,059	
			森林整備推進協議会の委員報酬等				47	
			架線系技術を習得するための研修費補助				200	
			森林管理認証を取得するための経費の補助				700	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	負担金支出団体数	団体	9	9				
	森林整備推進協議会の委員	人		16				
	財産区数	財産区	34	34				
	林業関連生産組合等の数	組合	9	9				
	FM認証森林面積	ha		1,499				
29年度 決算 (千円)	予算額	9,008	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	8,796	(そ) ふるさと寄附金 100千円 (そ) 財産区事務繰入金 2,672千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	2,772					
一般財源	6,024							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	1	10	1	3,309	2,790	林業総務費
2	1	6	2	2	10	1	5,313	5,306	林業振興一般経費
3	1	6	2	2	10	3	700	700	森林認証システム推進事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		間伐等の現場において、林地残材が課題になっています。 木材の付加価値をつけることにより、木材の搬出を進めていきます。							
上記の課題解決のための有効策		奥地の現場であっても架線系技術の普及により搬出が可能であれば材の搬出量が増えるとおもわれます。中堅技能労働者であっても架線系の搬出技術については、経験が不足しているため技術講習会を行うことで技術を継承していきます。 付加価値の手段の一つとして、国際認証の一つである森林管理認証を取得することにより、普及啓発いたします。							
次年度に向けての取り組み		技術講習会については、各法人において平成29年度の研修を参考にして各自で行っていただくものといたします。 森林認証を取得したことにより、今後は国際認証材として普及を図っていき、普及に努めてまいります。							

1 事業概要

事務事業名	森林づくり推進事業	課名	林務課	事業No.	189
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017		
		飯田市森林整備計画			
		21'いいだ環境プラン			
法令・例規等		森林法			
事業目的	対象	民有林及び市有林 森林所有者及び市民			
	意図	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理 森林ボランティア等の新たな担い手の確保			

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
	森林の持つ多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林（国有林を除く森林）を対象に、補助金を交付しました。 市有林を健全な森林として保全していくため、適切な管理を実施するとともに、豊川水源基金による整備を行いました。 森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校を開講し各種講座を実施しました。	森林造成事業に対する補助				
間伐促進対策事業に対する補助						9,301
みんなで支える里山整備事業に対する補助						10,832
森林税による里山や鳥獣被害の緩衝帯整備						2,171
間伐作業路の新設						22,010
市有林の管理業務						486
豊川水源林の整備						1,714
分収林の整備						0
いいだ森林学校の運営経費						980
その他の経費						149

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	間伐面積	ha	446.08	408.79			
	搬出間伐面積	ha	72.35	91.00			
	間伐を除く森林整備面積	ha	71.79	60.33			
	間伐作業路開設延長	m	0	500			
	豊川水源基金助成金の森林整備面積	ha	5	5			
	分収造林契約地の森林整備面積	ha		0			
	いいだ森林学校参加者数	人	133	114			

29年度決算(千円)	予算額		63,187	特定財源内訳及び補足事項			
	決算額		52,735				
	財源の状況	国庫支出金	0	(県) 森林づくり推進支援金 (10/10) 3,293千円			
		県支出金	15,793	(県) 間伐作業路整備事業補助金 (1/2) 12,500千円			
		地方債	0	(そ) 間伐作業路整備事業分担金 4,750千円			
		その他	5,770	(そ) 豊川水源基金助成金 1,020千円			
一般財源		31,172	(そ) 分収造林受託事業収入 0千円				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	11	1	27,103	27,102	森林造成事業費
2	1	6	2	2	11	3	9,559	9,301	間伐促進対策事業費
3	1	6	2	2	11	5	11,320	10,832	みんなで支える里山整備事業費
4	1	6	2	2	11	6	3,322	3,300	森林づくり推進支援事業費(里山整備・緩衝帯整備・いいだ森林学校運営)
5	1	6	2	2	13	1	573	486	森林環境保全推進事業費(市有林管理委託業務)
6	1	6	2	2	28	3	1,714	1,714	水源林対策事業費
7	1	6	2	2	29	3	9,595	0	分収造林事業費

振り返り課題認識	森林整備が遅れ、森林の持つ多様な多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）が効果的に発揮できない状況が生まれています。 林業労働者数の減少、財産区役員の担い手不足、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。健全な森林を育成し、市民の関心を高め、多様な主体による森林づくりを推進していく必要があります。
上記の課題解決のための有効策	平成30年4月1日を始期とする飯田市森林整備計画を策定しました。新たな森林整備計画に基づき有効な事業を展開します。
次年度に向けての取り組み	引き続き森林整備を行うための補助金を交付します。市有林を健全な森林として保全していくため、豊川水源基金による整備を行い、森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校を開講し各種講座を実施します。

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	190
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林集約化事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○ 地域経済活性化プログラム2017		
		飯田市森林整備計画		
		21' いいだ環境プラン		
法令・例規等				
事業目的	対象	民有林		
	意図	集約化及び団地化による森林整備の促進		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	民有林における間伐等の森林整備を計画的に促進するため、小規模な森林所有者の集約化を図り、森林所有者の同意の取り付けや森林現況調査等を行う森林組合等の林業事業者へ交付金を交付しました。		森林所有者情報の整備				410	
			集約化等に伴う林業事業者への交付金				2,855	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	森林経営計画策定団地数		団地	6	4			
	集約化された森林面積		ha	56	21			
29年度 決算 (千円)	予算額		4,878	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		3,265	(県) 森林整備地域活動支援交付金 (7.5/10) 2,141千円				
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	2,141					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源		1,124						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	12	2	994	410	集約化支援対策事業費
2	1	6	2	2	12	3	3,884	2,855	森林整備地域活動支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		民有林における間伐等の森林整備を計画的に促進するためには、小規模な森林所有者の集約化を図り、森林情報を的確に把握する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		森林に係る情報を一元化し、効率的な森林整備を行うため、林地台帳を整備します。							
次年度に向けての取り組み		森林法の改正により、平成31年度から市町村が森林情報を整備公表する林地台帳制度が創設されました。林地台帳の公表にむけ森林情報を整備します。							

1 事業概要

事務事業名 森林環境教育事業		課名	林務課	事業No.	191	
		会計	一般会計			
		事業区分	経常	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017			
			飯田市森林整備計画			
		21'いいだ環境プラン				
法令・例規等						
事業目的	対象	市民				
	意図	学校教育との連携や、公共施設緑化を契機とした、森林環境に対する市民意識の醸成を図る				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	市内の公共施設に、緑化木を配布することで、緑豊かな環境づくりを推進するとともに、児童による緑の少年団活動等を通じ、自然環境や森林づくりの重要性を理解できる、心豊かな人間性を育みました。		公共施設への緑化木配布				1,046	
			緑の少年団の活動支援				300	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	市内の公共施設に配布した苗木	本	1,434	1,441				
	緑の少年団活動団体数	団体	6	6				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,300	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,346	(そ) 緑の募金事務配分金 745千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 下伊那山林協会緑化事業交付金 300千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	1,045					
一般財源	301							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	13	1	1,346	1,346	森林環境保全推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		募金額により市への還付金額が変動するため、各地区からの要望本数の査定を行い、全箇所への配布を行い公共施設等の緑化推進を図ることができました。しかし配布植栽した苗木が枯れて、再度要望された箇所があります。少年団の活動が計画通りに実施され、より良い体験活動ができています。							
上記の課題解決のための有効策		配布した苗木の枯損率を減らすには、地域住民による手入れ等が必要です。							
次年度に向けての取り組み		公園、集会所等公共施設に緑の募金還元による緑化木を頒布し、地域の人たちが協力した活動によりヒートアイランド対策や景観形成を進めます。また、枯損率を低下させるため手入れの確実な実施をお願いしていきます。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	192
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林病虫害対策事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017
		○		飯田市森林整備計画
				21いいだ環境プラン
法令・例規等			森林病虫害防除法	
事業目的	対象	松（松林）		
	意図	松林を保全する		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容					事業費(千円)	
	29年度取組	天龍峡等の重点地域・公園等を中心とした保全すべき松林を対象に、伐採駆除(破碎・燻蒸)・地上薬剤散布・薬剤樹幹注入等を行い、松くい虫被害の防止を図りました。	被害木の伐倒駆除					17,629
地上薬剤の散布業務							4,266	
樹幹注入剤利用による松林の保全							1,512	
その他の経費							0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	伐倒駆除くん蒸・破碎	m3	490	728				
	地上薬剤散布	ha	20	20				
	樹幹注入	本	64	75				
29年度決算(千円)	予算額	23,412	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	23,407	(県)松林健全化推進事業補助金(伐倒 県1/2、衛生伐 国1/2、県1/5、地上散布 国1/2、県1/4、樹幹注入 国1/2、県1/4) 7,875千円					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)松くい虫防除対策事業分担金 68千円				
		県支出金	7,875	(そ)下伊那山林協会工事助成金 138千円				
		地方債	0					
		その他	206					
一般財源	15,326							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	14	1	23,412	23,407	森林病虫害対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		松くい虫による松枯れ被害は依然として沈静化せず、むしろ今まで被害の無かった標高の高い地域へ拡大しつつあります。全量駆除による被害対策は限界にきており、守るべき松林について重点化を図り、集中的に被害拡大防止対策を図る必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		守るべき松林に対し、重点的に事業を導入し、被害拡大を防止します。							
次年度に向けての取り組み		効果的に成果が発揮できるよう重点化を図り事業を進めていきます。							

1 事業概要

事務事業名 森林鳥獣被害対策事業		課名	林務課	事業No.	193	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
		分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017		
				飯田市森林整備計画 21世紀環境プラン		
	法令・例規等		鳥獣保護法 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			
事業目的	対象	有害鳥獣				
	意図	農林産物被害を防止し、良好な森林形成を図る				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	鳥獣被害対策実施隊員の活動を支援し、有害鳥獣捕獲活動を効率的・効果的に行い、農林業者の生産意欲等の低下に歯止めをかけ、農林業の振興を図りました。 人工林におけるカモシカの食害被害の拡大を防止するため、県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を行いました。 南アルプスにおける貴重な高山植物等を保護するため、広域連携による食害状況及び植生調査を実施するとともに、破損した防鹿柵の撤去作業等を行いました。		鳥獣被害対策実施隊員への報酬				1,044	
			カモシカの捕獲				342	
			錯誤捕獲した野生鳥獣の放獣				1,123	
			南アルプスにおける高山植物の食害対策				32	
その他の経費				192				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	飯田市鳥獣被害対策実施隊員数	人	227	228				
	カモシカ個体調整頭数	頭	5	5				
	ユネスコエコパークエリア内のシカ駆除数	頭	1,075	1,027				
29年度 決算 (千円)	予算額	3,378	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	2,733	(県) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (1/2) 561千円 (そ) 鳥獣飼養登録手数料 105千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	561					
		地方債	0					
		その他	105					
一般財源	2,067							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	15	1	3,378	2,733	鳥獣被害対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田市鳥獣被害対策実施隊による捕獲の推進を図っており、人数は確保出来ていますが、銃器での捕獲許可者の高齢化が進んでいます。							
上記の課題解決のための有効策		飯田市連合猟友会および、飯伊連合猟友会の若手会員により結成されてる南信州ハンターズの活動を支援し、若年捕獲者の技術向上と新規狩猟許可者を確保する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		有害鳥獣捕獲活動を効率的・効果的に行うため、鳥獣被害対策実施隊員の活動を支援します。新規狩猟者獲得のため飯田市連合猟友会および、南信州ハンターズの活動を支援します。南アルプスにおける貴重な高山植物等を保護するため、広域連携による食害状況及び植生調査及び対策を実施します。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	194
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		林道管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017
		○		飯田市森林整備計画
法令・例規等			森林・林業基本法	
事業目的	対象	飯田市が管理する林道		
	意図	林道機能の維持や通行の安全確保を図る		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)	
	29年度取組	林道（延長161.7km）の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全管理を行うことで、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図りました。	林道の路面整備				11,550
林道沿線の環境整備業務						2,401	
林道補修用原材料費						1,620	
林道除雪作業業務						3,882	
その他の経費						1,297	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績
	林道管理業務	路線	48	48			
29年度決算(千円)	予算額	20,943	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	20,750					
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	20,750						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	18	1	20,943	20,750	林道管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	降雨による崩落や落石倒木が多く、林道通行者の安全確保が課題です。
上記の課題解決のための有効策	林道利用者と協力し、きめ細やかな管理業務を実施します。
次年度に向けての取り組み	林道の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全管理を行います。

1 事業概要

事務事業名		林道整備事業		課名	林務課	事業No.	195
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017			
		○		飯田市森林整備計画			
法令・例規等			地域再生計画				
			森林・林業基本法				
事業目的		対象	未舗装、未改良部分の林道				
		意図	林道の開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる				

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	29年度取組	森林整備や保全管理上、必要不可欠な林道の開設、改良、舗装工事を行い、木材運搬の効率化や通行の安全確保を図りました。また、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命化と将来の架替えコストの縮減を図りました。	林道の開設(南信濃高平線)
林道の舗装(千遠線)			20,926
林道の改良(国庫補助事業)			170,281
林道の改良(市単独事業)			5,530
その他の経費			0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	林道開設延長	m	0	100			
	林道舗装延長	m	1,095	646			
	林道改良延長	m	652	772			
	林道橋梁改良・保全整備箇所	橋	10	7			

29年度決算(千円)	予算額	240,318	特定財源内訳及び補足事項				
	財源の状況	決算額	211,754	(県)林道開設事業補助金(国1/2、県5/100) 6,481千円			
国庫支出金		0	(県)林道舗装事業補助金(国1/2、県1/100) 10,024千円				
県支出金		82,543	(県)林道改良事業補助金(国1/2、県1/100) 66,038千円				
地方債		83,300	(地)過疎対策(充当率100%) 31,900千円				
その他		33,456	(地)公共事業等(充当率90%) 51,400千円				
一般財源		12,455	28→29繰越明許費33,456千円 29→30繰越明許費4,668千円				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	19	1	21,190	15,017	林道開設事業費
2	1	6	2	2	20	1	32,008	20,926	林道舗装事業費
3	1	6	2	2	21	1	215,134	170,281	林道改良事業費(補助)
4	1	6	2	2	22	1	5,530	5,530	林道改良事業費(単独)
5									
6									
7									

振り返り課題認識	未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を中心に効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を削減します。
上記の課題解決のための有効策	森林整備の推進や生活道路としての路線を重点化し、飯田市森林整備計画や橋梁保全整備計画に基づき、計画的に事業を実施する必要があります。
次年度に向けての取り組み	未改良区間が多くあるため、さらに優先的に実施する箇所を精査し、林道整備計画を見直して、重点化を図る必要があります。

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	196
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		治山関連事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017
		○		飯田市森林整備計画
法令・例規等				
事業目的	対象	保安林・治山事業区域内の民有林		
	意図	森林荒廃地の早期回復により保全と再生を図る		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	森林、道路、人家等を守るため、県単の公共治山事業で採択されなかった小規模な箇所を市単独事業で実施しました。 飯田市の重要な水源地である松川入地区において、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、関連改良工事を実施しました。		県治山事業の関連工事				896	
			国直轄治山事業関連の林道松川入線整備				1,361	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	治山関連工事		箇所	1	1			
	松川入線改良施工延長		m	45	50			
29年度 決算 (千円)	予算額		2,261	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		2,257					
	財源の 状況	国庫支出金		0				
		県支出金		0				
		地方債		0				
		その他		0				
一般財源		2,257						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	22	2	900	896	治山関連事業費
2	1	6	2	2	25	1	1,361	1,361	直轄治山環境整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	近年、豪雨や台風が多く、土砂災害発生の危険性が年々高まっており、一層の事業推進を図る必要があります。
上記の課題解決のための有効策	優先順位の高い箇所から工法を検討し、効率化を図ります。
次年度に向けての取り組み	保全対象を明確にし、優先順位をつけ実施していきます。

1 事業概要

事務事業名 森林資源活用推進事業		課名	林務課	事業No.	197	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017			
			21'いいだ環境プラン			
法令・例規等						
事業目的	対象	林業生産額（億円）				
	意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対して補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげました。 木育活動を通じて、木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図りました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				1,977	
			木育活動を推進するための経費				1,912	
					その他の経費			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	7	10				
	新生児用の木製スプーンの配布数	個	900	950				
	貸出用木製遊具の配布数	セット	12	8				
	補助対象とした住宅の木材使用量	立米	115.62	83.10				
29年度 決算 (千円)	予算額	5,879	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	3,889	(県) 森林づくり推進支援金 (10/10) 1,912千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	1,912					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,977							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	3,546	1,977	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2	1	6	2	2	11	6	1,913	1,912	森林づくり推進支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		住宅を建てるには、多額の費用がかかり、使用する材も安価な外材や他地域の利用が多いのが現状であり、いかに木材産業振興のため地元産材の利用を進めるかが課題です。さらなる利用を進めるためには、地域産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。これまでの木育活動の検証を行い、木材利用の拡大につなげられる展開が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。							
次年度に向けての取り組み		木材の利用を進めるため飯田市産材を使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。地域ぐるみによる木づかい運動を推進するため木育活動を通じて、木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。							

1 事業概要

課名		林務課		事業No.		198	
会計		一般会計					
事業区分		経常		実施区分		継続	
開始				終了			
事務事業名		森づくり市民活動支援事業					
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017			
				飯田市森林整備計画			
			21世紀環境プラン				
法令・例規等							
事業目的	対象	市民・企業					
	意図	森林体験や普及活動を通じた森づくりへの市民参加を増やす					

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)	
	29年度取組	森林（もり）の里親促進事業を通じ、企業と森林所有者等との交流を深め、森林整備を進めました。 市民が自然と触れ合いながら、様々な体験を通して自然の大切さや木材利用、森林保全等の重要性を学ぶことができる環境づくりを進めました。		森林の里親制度締結団体との交流活動					117
育樹祭の負担金					247				
野底山森林公園さくら祭りの負担金					529				
その他の経費					0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	企業・団体等と地域との交流		回	3	3				
	イベントへの市民の参加者数		人	4,029	4,031				
29年度決算(千円)	予算額		894	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		893						
	財源の状況	国庫支出金		0					
		県支出金		0					
		地方債		0					
		その他		0					
一般財源		893							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	9	118	117	森林の里親制度推進事業費
2	1	6	2	2	27	5	776	776	森林ふれあい事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		木材等の利用や森林に対する理解が進んでいない状況があります。森づくりを支えるため、森林体験や環境活動等に取り組んでいる企業・団体・NPO・市民等、多様な主体と協働し、普及啓発活動や森林整備を進めていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		多様な主体と協働し、普及啓発活動や森林整備を進めていく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地区や集落ごとの地域住民等が森林整備に参画できるよう、森林作業技術の研修を行い、林業技術の習得できる環境を整えます。市民が自然と触れ合いながら体験し、自然の大切さや木材利用、森林保全等の重要性を学ぶことができる環境づくりを進めます。							

1 事業概要

事務事業名		林業施設管理運営事業		課名	林務課	事業No.	199	
				会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	継続	
				開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
		分野別計画	○	地域経済活性化プログラム2017				
				飯田市森林整備計画				
		21'いいだ環境プラン						
法令・例規等								
事業目的	対象	木工センターとちの木と林産物加工施設						
	意図	施設の利活用を図り、木材利用を促進する						

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	指定管理から直営にし、休館扱いとなっているとちの木について、上村まちづくり委員会と今後の在り方について、有効利用に向けた環境づくりを整えました。		木工センターとちの木の維持管理費				521	
			林産物加工施設の維持管理費				626	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	施設管理に関する協議	回	5	5				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,288	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,147						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,147							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	30	1	527	521	上村木材工芸品加工販売施設費
2	1	6	2	2	31	1	727	626	林産物加工施設費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		とちの木については、地域において、地域活性化の拠点としての施設の利用方法が検討されています。林産物加工施設は、飯伊森林組合の第2ほうりん製材工場として、一時的な材木置き場として活用されており、製材工場として本格稼働はされていません。							
上記の課題解決のための有効策		とちの木については、地元と協議を進めてまいります。林産物加工施設については、飯伊森林組合と協議してまいります。両施設ともに、地元や関係者と有効利用にむけ協議してまいります。							
次年度に向けての取り組み		とちの木については、より地元に近い上村自治振興センターへ移管して、活用方法について検討してまいります。林産物加工施設については、有効利用に向け引き続き飯伊森林組合と協議してまいります。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	200
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林公園維持管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○ 地域経済活性化プログラム2017		
		飯田市森林整備計画		
		21いいだ環境プラン		
法令・例規等				
事業目的	対象	野底山森林公園の各施設		
	意図	適切に維持管理を行い、利用の拡大を図る		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容					事業費(千円)	
	29年度取組	指定管理運営委員会に参加し、公園の指定管理について協議しました。市外の利用者の多いキャンプ場の在り方について研究するため、県内のキャンプ場の視察を行い、公園管理の手法について参考にいたしました。	施設管理業務の委託料					9,906
施設改修に係る工事費							687	
施設に関する修繕料等							517	
建物の火災保険料							98	
利用促進のための視察等経費							67	
A E D 借り上げ料							53	
自動車重量税							7	
電気代							156	
その他の経費							0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	年間延べ利用者数	人	41,000	50,444				
	施設を利用したイベント数	回	13	14				
29年度決算(千円)	予算額	11,841	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	11,491	(そ) 太陽光発電収入 156千円					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 下伊那山林協会緑化事業交付金 230千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	386					
一般財源	11,105							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	3	10	1	11,841	11,491	森林公園一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		リニア時代を迎え、リニア駅からも比較的近い公園として、公園の目指すべき姿を検討していく必要があります。来客数のさらなる増加のために施設を見直していきます。							
上記の課題解決のための有効策		リピーターを増やすためにも講座などの開催や施設の修繕を行います。キャンプ場など市外の利用者の多い施設の在り方を研究してまいります。							
次年度に向けての取り組み		キャンプ場が老朽化しているので、将来の改修を含めたキャンプ場の研究をしていきます。あわせて、施設全体の見直しや講座についても検討してまいります。							

1 事業概要

事務事業名		起業家育成支援事業			課名	金融政策課	事業No.	206
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H23	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる				
	分野別計画	地域経済活性化プログラム2017						
法令・例規等	飯田市中心小企業支援補助金交付要綱							
	飯田市起業家発掘事業実施要綱							
事業目的		対象	飯田市の区域で起業しようとする者					
		意図	起業の実現					

2 事業内容

29年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)
	<p>本年度の起業家ビジネスプランコンペティションは、準大賞1件、特別賞2件を生み出し、いずれも事業化しました。中小企業振興資金を借りた起業家への利子補給も例年同様に行いました。また29年8月末に飯田市新事業創出支援協議会I-Portを新設し、専用の発信メディア「ハジメマシテ、飯田」も運用開始しました。設置以来、7件の支援申請を受理、うち、成長性があり特徴的な3件に連携支援決定をしました。サイトのフォロワー数も堅調に伸びています。起業相談者数、起業関連中小企業振興資金の利用数とも、平成26年度(課として設置)以来、高水準を維持し続け、29年度は最高値となりました。(いずれも飯田商工会議所との共同事業)</p>			起業家ビジネスプランコンペ実施				1,322
				新事業創出支援協議会I-Port設立・運営				4,228
				起業セミナー開催				0
				起業関連制度資金の借入者への利子補給				1,142
				専門家派遣事業等				160
				その他の経費	0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	起業セミナーの開催回数	回	6	6				
	起業家ビジネスプランコンペの開催回数	回	1	1				
	I-Port支援決定事業者数	事業者	0	3				
29年度 決算 (千円)	予算額	11,907	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	6,852						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	6,852							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	10	3	11,587	6,692	起業家育成支援事業費
2	1	7	1	3	10	4	320	160	中小企業経営安定支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>起業支援諸施策の成果が具体的な事案や数値となって表れてきました。一方で、ビジネスプランコンペは受賞のハードルが年々高まっており、29年度は応募数が減少しました。起業期の事業者の支援需要を再検証し、魅力ある制度へと修正する必要があります。I-Portは、初期の想定を遥かに上回る申請数、さらに難易度の高い案件も到来しており、支援側の受入れ態勢の円滑化と、支援の高機能化を進める必要があります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>平素の起業相談・経営相談を受ける過程で、様々な事業者が必要とする支援の内容を注意深く抽出するとともに、共同事業者である飯田商工会議所中小企業相談所との連携をさらに緊密化し、同所が保有するデータや知見を活用させて頂き、15の支援機関の連携がより良いものとなるよう、不断の見直しを行います。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>ビジネスプランコンペは、通年行ってきた創業塾の内容も併せて見直し、両者の連続性を高め、両者が相俟って効果を高めるよう制度の見直しをします。I-Portは、連携支援の質が問われる事業であるため、連携のウイングを広げるとともに支援会議での議論の質も高め、支援の役割分担を明確化することで、支援の成果を効果的に形にしていけます。</p>							

1 事業概要

		課名	金融政策課	事業No.	207
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	S46	終了	
事務事業名	中小企業金融対策事業				
	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017	
法令・例規等		○	飯田市中小企業振興資金融資あっせん規則		
事業目的	対象	市内の中小企業者等（中小企業者・個人事業者・中小企業団体）			
	意図	経営安定、事業拡大等のための運転資金又は設備資金の調達の容易化			

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	金融政策課の基幹業務である中小企業振興資金を正確かつ適正に運用しました。起業支援諸施策の奏功も相俟って、当市扱い分の融資あっせんは、H28の390件・1,966,240千円に対し、本年度は456件・2,559,250千円となり、件数、金額とも大幅増となりました。 中小企業の資金需要、地域の経済環境及び市の産業施策を的確に捉えて、地域の中小企業に必要とされる資金メニューとなるよう、常に制度の検証を行っていきます。		中小企業振興資金保証料補助				57,598	
			中小企業振興資金貸付預託金				1,300,000	
			その他の経費					0
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	中小企業振興資金の制度見直し実施回数	回		1				
29年度決算(千円)	予算額	1,500,000	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,357,598	(そ) 中小企業振興資金貸付預託金回収金					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	1,300,000					
一般財源	57,598							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	11	1	1,500,000	1,357,598	中小企業金融対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		安定した事業運営ができています。特に、I-Portの設置を受け、I-Port支援事業者専用の中小企業振興資金「I-Port支援資金」を新設・運用開始しました。被支援事業者が負担する信用保証料の全額を市が負担する代わりに、案件に関わる加盟支援機関の全ての合意がなければ融資あっせんしないというハードルが高い資金メニューですが、1件の事業者の革新的な新事業に対して実行することができました。ビジネス支援制度の充実と併せて本資金の利用増加も進めます。							
上記の課題解決のための有効策		ビジネス支援諸施策の効果的な展開の成果が、本事業による融資あっせんの成果に結び付くように、各種の施策と中小企業振興資金の融資メニューとの連携を検討していく必要があります。一方で、市中金融機関によるプロパー融資の機能を阻害することなく、信用力の低い中小企業の資金需要に積極的に応えていける確かな制度運用も必要です。							
次年度に向けての取り組み		ビジネス支援施策と的確に連動する中小企業振興資金の制度について不断に検証するとともに、国の金融政策、リニア関連工事等の進捗その他の状況変化を的確に捉えて、中小企業振興資金のメニューの見直しを行います。							

1 事業概要

事務事業名		社会基盤維持管理事業			課名	土木課	事業No.	239
					会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○		飯田市舗装長寿命化修繕計画				
			橋梁長寿命化修繕計画					
法令・例規等			建設リサイクル法					
事業目的		対象	飯田市が管理する道路、河川、水路					
		意図	道路、河川、水路の維持管理					

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)
	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、維持管理を計画的に行っていくことで、経済的かつ効率的に社会基盤の強化を図ります。また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図ります。	道路補修事業						
道路舗装補修事業							196,395	
道路維持管理事業							23,918	
りんご並木管理費							3,680	
街路管理費							26,475	
除雪費							117,388	
河川維持補修事業							9,323	
橋りょう補修事業							5,445	
その他の経費							0	
活動指標		指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績
	社会基盤維持補修工事	箇所	368	298				
	施設補修用資材支給箇所	箇所	157	140				
	舗装補修工事	箇所	261	248				
	社会基盤維持管理業務委託	箇所	41	43				
29年度決算(千円)	予算額	608,830	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	598,990	(国) 社会資本整備総合交付金(除雪) (2/3)					
	財源の状況	国庫支出金	15,669	(県) 市町村合併特例交付金				
		県支出金	4,120	(地) 過疎対策(充当率100%)				
		地方債	9,900					
		その他	0					
一般財源	569,301							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	2	10	1	216,775	216,366	道路補修事業費
2	1	8	2	2	11	1	197,275	196,395	道路舗装補修事業費
3	1	8	2	2	12	1	26,145	23,918	道路維持管理事業費
4	1	8	4	3	10	2	30,820	30,155	りんご並木管理費
5	1	8	2	2	12	2	121,856	117,388	除雪費
6	1	8	3	2	10	1	9,337	9,323	河川維持補修事業費
7	1	8	2	4	10	1	6,622	5,445	橋りょう補修事業費
振り返り課題認識		道路、水路施設等の老朽化による経年劣化及び損傷箇所が急激化する中、迅速に対応する事ができました。災害を未然に防ぐため緊急性の高い箇所から修繕・補修等を行っていますが、すべての箇所が対応が出来ないため異常気象における災害リスクの解消ができていない状況となっています。除雪作業において、委託業者社員の高齢化・人出不足のため、除雪対応が難しくなる地域が今後出る事が予想されます。							
上記の課題解決のための有効策		道路、水路施設等の点検を実施し、劣化の度合い・重要度を勘案した修繕の実施を行います。維持補修、除雪作業体制の見直しが必要と考えます。							
次年度に向けての取り組み		全ての橋梁点検結果を基に重要度及び劣化の度合いを勘案し、長寿命化計画を作成し修繕にあたります。維持補修、除雪作業体制に係わる委託業者との懇談会を実施し今後の体制を検討します。							

1 事業概要

課名		管理課	事業No.	246
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H14	終了	
事務事業名		天竜川総合学習館管理運営事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	天竜川総合学習館管理運営要領	
事業目的	対象	1 幼児、市内小中学生及び一般市民（市民） 2 講座参加者		
	意図	生涯学習、環境学習、河川防災等の講座を開催し、自然・環境・防災等に対する意識の高揚を図る。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)		
	天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示を行い、一般観覧者に対応するとともに、週1～2回の講座開催による環境等の学習を推進しました。また、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図りました。	環境学習等の開催及び施設の管理					7,682	
かわらんべ講座の開催 115回						0		
かわらんべ祭りの開催 7月29日						0		
その他の経費						0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	講座開催数	回	104	115				
	来園、来校回数	回	66	59				
	来館者数	人	33,484	34,308				
29年度決算(千円)	予算額	7,773	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	7,682						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	7,682							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	3	1	12	1	7,773	7,682	天竜川総合学習館管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		平成29年度は、ホームページをリニューアルし、より多くの市民の皆さんの関心を高めてもらえるよう努めました。会場規模から参加人数は収容能力の上限値とされます。講座の開催回数は維持しつつ、講座内容の質的な向上を図るとともに、新たな講座による、参加者の新規獲得を目指します。							
上記の課題解決のための有効策		広報紙をリニューアルし、より多くの市民の皆さんの関心を高めてもらえるよう努めます。また、講座の開催回数は維持しつつ、講座内容の質的な向上を図るとともに、新たな講座による、参加者の新規獲得を目指します。							
次年度に向けての取り組み		広報紙をリニューアルし、より多くの市民の皆さんの関心を高めてもらえるよう努めます。また、講座の開催回数は維持しつつ、講座内容の質的な向上を図るとともに、新たな講座による、参加者の新規獲得を目指します。							

1 事業概要

		課名	地域計画課	事業No.	250
事務事業名		土地利用計画推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	H19	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			国土利用計画、土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画	
法令・例規等			国土利用計画法、都市計画法、景観法、都市緑地法、屋外広告物法		
			土地利用基本条例、土地利用調整条例、都市計画法施行条例、景観条例、緑の育成条例等		
事業目的	対象	飯田市全域			
	意図	計画に基づく土地利用が行われる			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	<p>平成30年1月1日に「いいだ未来デザイン2028（飯田市総合計画）」や「第3次国土利用計画飯田市計画」の策定のほか、「都市計画道路の見直し」等の状況に応じ、これらの内容に即した土地利用基本方針の変更を行いました。</p> <p>平成29年12月25日に「太陽光発電施設等の取扱い」、「最低敷地面積の制限の見直し」及び「屋外広告物禁止地域及び許可地域の区域の変更」に関する景観計画の変更などを行いました。またこれに関連する例規整備として、「土地利用調整条例」、「景観規則」及び「屋外広告物条例施行規則」の改正等を行いました。</p> <p>上記のほか、地域の土地利用方針等を検討しました。</p>		土地利用計画審議会報酬・旅費	81				
			計画検討に係る講師謝礼・旅費	197				
			打合せ等旅費、消耗品その他	746				
			その他の経費	0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	土地利用関係計画の策定・変更	回	2	2				
	土地利用計画に係る例規の制定・改正	回	1	6				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,488	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,024						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,024							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	1	10	5	1,394	958	土地利用基本方針策定事業費
2	1	8	4	1	10	6	94	66	景観形成推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>リニア開通を見据えた土地利用基本方針や景観計画の変更等を行ってききましたが、今後も社会情勢の変化等に対応した適正な土地利用と良好な景観の育成が図られるよう、適宜計画の見直しが必要です。</p> <p>また各地区において、いいだ未来デザイン2028（飯田市総合計画）と調和した地域の基本構想・基本計画の策定・改定が進む中、地域土地利用方針や地域景観計画の検討・見直しが必要です。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>平成29年度も行ってききましたが、リニア関連事業の進捗状況等をとらえ、関係機関と連携して取り組みます。また各地区での取組み状況を把握し、勉強会の開催や検討組織の立ち上げの支援など今年度も積極的に関わっていきます。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>リニア関連事業などの進捗にあわせて、必要な土地利用計画の見直しを地域の皆さんと一緒に検討しながら、その具体化を図ります。</p> <p>また各地区の皆さんとも積極的に地域土地利用方針の見直しなどを行って参ります。</p>							

1 事業概要

課名		土木課		事業No.		252	
会計		一般会計					
事業区分		経常		実施区分		継続	
開始				終了			
事務事業名		公園維持管理事業					
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
	法令・例規等	○		都市公園法 飯田市都市公園条例			
事業目的	対象	市民、公園					
	意図	公園利用者が安全・安心して利用できる環境整備					

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	都市公園、その他公園における樹木の整枝・剪定・病害虫駆除を実施しました。また遊具、トイレ等の公園施設の修繕・補修工事を28箇所実施し、利用者が快適で安全に利用いただける状態を維持します。		(県) 風越公園維持管理費				3,676	
			都市公園等維持管理費				62,304	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	施設の補修箇所数		箇所	27	28			
29年度 決算 (千円)	予算額		67,353	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		65,980	(県) 風越公園管理委託金 (そ) 太陽光発電収入				
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	3,676					
		地方債	0					
		その他	152					
一般財源		62,152						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	13	1	63,662	62,304	都市公園等維持管理費
2	1	8	4	5	13	2	3,691	3,676	(県) 風越公園維持管理費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		樹木の高木化に伴い、剪定、病害虫駆除、落ち葉清掃等の維持管理が増加しています。地元愛護会と連携して維持管理を行っていますが、高齢化、住民減少などの理由により愛護会の活動が縮小しています。							
上記の課題解決のための有効策		落ち葉清掃機の貸与、維持管理に必要な資機材の支給を行い、地域住民の労力軽減を図り、継続した維持管理をお願いします。また、各公園ごとに公園内の樹木のあり方について検討していく必要があると考えています。							
次年度に向けての取り組み		愛護会も高齢化や住民減少による労力低下という問題を抱えているため、落ち葉清掃機の貸与を行います。							

1 事業概要

課名		土木課	事業No.	253
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名 飯田子どもの森管理運営事業				
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等			飯田市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例 都市公園法・飯田市都市公園条例 ○ 平成記念飯田子どもの森公園条例
事業目的	対象	市民、公園		
	意図	様々な体験活動の場を児童に提供し、健やかな成長に資するとともに、安全・安心して公園を利用できるための管理運営。		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容					事業費(千円)	
	29年度取組	遊具の点検、園地の清掃、草刈り、除草、植栽の整備を行いました。また、指定管理者及び各種関係団体主催のイベントを687回実施しました。 経年劣化による遊具等の施設の補修工事を実施しました。	飯田子どもの森公園維持管理費					28,868
その他の経費					0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	入園者数	人	100,345	111,750				
	事業実施数 (イベント等)	回	569	687				
29年度決算(千円)	予算額	28,869	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	28,868						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	28,868							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	14	1	28,869	28,868	飯田子どもの森公園維持管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		木材を使用した施設が多いため、老朽化が進行しています。公園利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、計画的な改修・修繕を図っていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		定期点検や日常点検の回数を増やし、施設の異常箇所の早期発見、迅速な修繕を行う事で施設の長寿命化を図ります。							
次年度に向けての取り組み		定期点検や日常点検により異常箇所が見つかった場合には、迅速な修繕・改築工事を実施します。							

1 事業概要

課名		学校教育課	事業No.	273
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		大平宿泊訓練施設管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	飯田市大平宿泊訓練施設設置条例 飯田市大平宿泊訓練施設設置条例施行規則	
事業目的	対象	大平宿泊訓練施設		
	意図	施設の良い維持		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
	1 施設の修理修繕をしました。	施設の修繕				
2 施設の維持管理をしました。	施設の管理費用					135
給水ポンプ等の保守点検、汚物汲取り、清掃・草刈	借地料					49
3 敷地の借地に係る賃貸借業務をしました。						
		その他の経費				1

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	管理施設数	棟	3	3			

29年度決算(千円)	予算額		347	特定財源内訳及び補足事項			
	決算額		235	(そ) 大平宿泊訓練施設使用料 50千円			
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	50				
一般財源		185					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	3	10	2	347	235	大平宿泊訓練施設管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度は、雨漏りの緊急的部分処置を行いました。 ・当該施設が歴史的意義を有するも、施設の維持管理等、今後のあり方の研究が必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・自然とのふれあいや環境学習の目的で設置していますが、社会教育施設、観光施設として、統括していく必要があります。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・旧大平宿の周辺施設との関係、観光面からの利活用を図る適切な管理体制が必要と考えます。 							

1 事業概要

		課名	公民館	事業No.	312
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市版総合戦略	
				飯田市教育振興計画	
○			飯田市公民館基本方針		
法令・例規等			社会教育法		
			飯田市公民館条例		
事業目的	対象	各地区住民			
	意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを深め、地域を知り人につながる機会となる			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	地区公民館事業 ・各地区住民全世代を対象として、各地区の特色をいかした多様で主体的な学習交流活動を支援しました。 ・高齢者学級や女性学級等の学級・講座、世代間や地区内住民の交流を目的とした事業を全ての地区で実施しました。		天龍峡夏期大学、各種学級・講座、交流事業等				1,575	
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
講座等開催数		回	693	688				
延べ参加者人数		人	15,440	16,488				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,604	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,575						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,575							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,604	1,575	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・各地区において、住民の主体的な企画運営による多様な分野の学習交流活動を通じて住民自治の意識を育んでいますが、より地域課題解決に向けた取組や青年層世代が参加しやすい事業展開が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・常に事業の目的や意義を確認しつつ、住民の主体的な関わりや課題を捉えた活動に展開していけるよう支援していきます。また、青年層に対しては、各地区の成人式に関わった新成人等が引き続き地域とつながることができるよう取り組みます。							
次年度に向けての取り組み		・住民の主体的な企画・運営による事業を展開するとともに、より地域課題や生活課題を捉えた学級・講座を展開します。 ・既存の事業や新規事業として青年層を対象とした講座の組立に取り組みます。							

1 事業概要

課名		公民館	事業No.	315
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		地域の環境学習交流支援事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市版総合戦略
				飯田市教育振興計画
		○		飯田市公民館基本方針
法令・例規等			社会教育法	
			飯田市公民館条例	
事業目的	対象	各地区住民		
	意図	地域の環境に関心を持ち、住民同士の学習・交流を深め、環境保全や改善活動に取り組んでいる		

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容					事業費(千円)	
	地区公民館事業 地区内の身近な自然とのふれあい活動を通じ、住民同士の交流を深め、環境保全や改善活動に取り組む活動を支援しました。 ・里山保全活動、水辺の楽校、農作業体験教室等を実施しました。	地域資源保全活動、自然・環境学習等						181
							0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	講座開催数	回	80	68				
	のべ参加者数	人	4,445	5,435				
29年度決算(千円)	予算額	190	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	181						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	181							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	190	181	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・温暖化や里山荒廃、鳥獣被害など地球規模の環境問題が課題となっている現状において、多様な環境学習を通じて、身近な自然環境に関心を持ち、保全・活用等の実践的な取組を行うことのできる意識づくり、人づくりが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・まちづくり委員会、環境課、林務課等の関係団体・機関との連携して事業を展開します。							
次年度に向けての取り組み		・各地区において、身近な地域の環境に関心をもてるような機会を提供します。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	326
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	伊那谷に存在する自然、人文、美術に関する事象や資料			
	意図	調査、研究、整理し、活用できる状態にする			

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
		自然・人文・美術に関する調査研究を行い、その成果を展覧会や講座に活用しました。また、研究成果は、学会での研究発表や、学術雑誌、研究紀要、伊那谷自然史論集等の研究誌を通じて公表しました。 調査研究及び展示の充実のために必要な資料等の取得を計画的に行いました。また、作品や資料等の購入を行い、寄贈・寄託を受けました。 資料等を整理登録しデータベース化を進め、公開や閲覧に供しました。 傷んだ資料の修復を行いました。	専門研究員等賃金			
		自然調査研究				1,327
		人文調査研究				1,030
		美術調査研究				1,161
		図書整理公開				754
		研究紀要・自然史論集印刷				613
		飯田・上飯田の民俗2印刷				1,220
		その他の経費				0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	研究発表数	件	42	40			
	資料登録件数	点	3,398	384			
	資料修復点数	点	1	41			
	図書室の開室日数	日	108	111			

29年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補足事項			
		14,225				
	決算額	13,184	(そ) 諸収入			
財源の状況	国庫支出金	0				
	県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	1,292				
	一般財源	11,892				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	294	293	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	15	1,060	920	伊那谷作家調査研究事業費
3	1	10	5	6	11	16	4,893	4,654	伊那谷文化史資料調査研究事業費
4	1	10	5	6	11	17	6,284	5,852	伊那谷自然史資料調査研究事業費
5	1	10	5	6	11	18	399	241	菱田春草顕彰事業費
6	1	10	5	6	11	19	755	754	資料データベース化事業費
7	1	10	5	6	11	22	540	470	教育普及事業費
振り返り課題認識		・地域に根ざした魅力的な展示や博物館活動を行っていくためには、事象や資料を地域資源化するための継続的な調査研究が必要です。また、資料を効果的に利活用するための整理とデータベース化も必要です。 ・菱田春草常設展示、自然・文化展示室リニューアルに対応するために、作品や資料のさらなる増強と研究が必要です。 ・収蔵資料の増加に伴い、収蔵保管スペースが不足しています。							
上記の課題解決のための有効策		・収蔵庫や倉庫の整理を定期的実施します。館外のスペースの利用についても検討します。 ・作品の寄贈や寄託の受け入れを進めるとともに、作品購入や資料収集を計画的に実施します。							
次年度に向けての取り組み		・自然・文化展示室リニューアルに向けて、調査研究及び資料整理を一層進めます。 ・菱田春草の作品や関連資料の修復を計画的に進めます。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	327
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民、観光客 伊那谷に関する自然・人文・美術に関するテーマ、芸術			
	意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深める			

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)			
		<p>菱田春草常設展示をスタートしました。</p> <p>特別展「創画会70周年記念展」、第18回現代の創造展、特別陳列「没後210年佐竹蓬平」、コレクション展示「綿半陶磁器2017」「熊谷好博子の意匠」「飯田の文雅(前・後)」「須田剋太・原鼎・藤本四八」「綿半陶磁器2018」「現代日本画コレクション」を開催しました。</p> <p>国史跡指定記念企画展「飯田古墳群」を開催しました。</p> <p>企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」を開催しました。</p> <p>自然・文化展示室リニューアルの準備を進めました。</p> <p>柳田國男館・日夏耿之介記念館の展示を行いました。</p>	<p>菱田春草常設展示</p> <p>企画展「ライチョウがすむ南アルプス」</p> <p>企画展「飯田古墳群」</p> <p>コレクション展・特別陳列・特別展等美術展示</p> <p>自然常設展示</p> <p>人文常設展示</p> <p>柳田國男館・日夏耿之介記念館展示</p> <p>部門共通</p> <p>その他の経費</p>	10,797	2,287	1,977	2,294	793	264	78	1,388
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績				
	展覧会の数 (更新を含む)	本	18	17							
	観覧者数	人	30,744	33,208							
29年度決算(千円)	予算額	20,954	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	19,878	(国) 社会資本整備総合交付金 (市街地整備) (4.5/10)								
	財源の状況	国庫支出金	4,210	(そ) ふるさと寄附金 1,537千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入 50千円							
		地方債	0								
		その他	1,587								
一般財源	14,081										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	167	78	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	18	10,098	10,097	菱田春草顕彰事業費
3	1	10	5	6	11	20	9,964	8,978	展示公開事業費
4	1	10	5	6	11	21	725	725	美術鑑賞機会提供事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・開館以来の悲願であった菱田春草の常設展示を開始できたことは大きな成果でした。今後は春草の故郷にある全国で唯一の春草常設館として情報発信に努める必要があります。また、この展示を核として美術展示を組み立てる必要があります。 ・数年来の課題である自然・文化展示室リニューアルに向けた本格的な取り組みが必要です。 ・飯田古墳群の国史跡指定や南アルプスのエコパークにあわせたライチョウ展等、時機を捉えた展覧会が開催できました。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・春草の常設展示開催を広く全国にPRする必要があります。 ・自然・文化展示室リニューアルについては広く学校教育・社会教育関係団体等との協議を経て、限られた予算でより有効な展示内容にできるよう進める必要があります。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・菱田春草や「伊那谷の自然と文化」の魅力を発信できるよう、広報に工夫をこらすとともに、作品の修復や資料整理、調査研究を一層進めます。 ・自然・文化展示室リニューアルに向けて、学校や社会教育団体等、市役所内での合意形成を大事にして進めていきます。 							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	328
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む	
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民			
	意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	総合的な教育普及活動として、美博まつり、学芸祭を行いました。 自然部門では、自然講座、子ども科学工作教室、子ども地球探検隊、天文講座、化石標本室ワークショップ、自然史発表会、ジオパーク看板設置を行いました。 人文部門では、文化講座、古文書講座を行いました。 美術部門では、美術講座、春草講座、美術鑑賞の会、子ども美術学校、美術ワークショップを行いました。 藤本四八氏を顕彰する子ども写真教室、美博小中高校生写真賞の事業、市民ギャラリーの運営、伊那谷研究団体の活動への支援を行いました。		専門研究員等賃金				2,323	
			自然部門教育普及				1,235	
			人文部門教育普及				284	
			美術部門教育普及				1,079	
			総合教育普及				980	
			伊那谷の自然と文化研究事業補助金				400	
			部門共通				172	
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
講座等開催数		回	192	185				
講座等参加者のべ人数		人	4,777	7,138				
29年度 決算 (千円)	予算額	7,448	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	6,473	(そ) 美術博物館施設使用料 359千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 美術博物館受講者負担金 312千円				
		県支出金	0	(そ) 過疎地域自立促進基金繰入金 921千円				
		地方債	0	(そ) 諸収入 150千円				
		その他	1,742					
一般財源	4,731							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	450	400	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	18	556	541	菱田春草顕彰事業費
3	1	10	5	6	11	20	289	163	展示公開事業費
4	1	10	5	6	11	22	3,533	2,778	教育普及事業費
5	1	10	5	6	11	23	2,620	2,591	美術等活動推進事業費
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> 一般向け講座は、情報発信の強化に努めたことにより、参加者数が改善傾向であり、新たな参加者を獲得することができました。小中学生向け講座は参加者の満足度が高く、美術や科学分野等では学校教育を補う事業として注目されています。また、美博まつりは参加者数が安定してきました。学芸祭は菱田春草常設展示スタートの年であることから春草をテーマに設けて口頭発表を行い、例年とは違った取り組みとなるよう工夫しました。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> 講座や講演会のプログラムは、一般向け、小中学生向けと内容が充実してきており、安定的な参加者を確保しています。 今後は新たな参加者に対するPR方法としてSNS等による情報発信を強化していく必要があります。また、数多くの事業を実施している状況のため、効率化に向けた見直しも必要となります。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 館全体で協力して情報発信を心掛けます。 学芸祭は自然・文化展示室リニューアルに合わせて、開館以来の当館の研究蓄積をテーマにした内容とします。 							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	329
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
事務事業名		プラネタリウム運営事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画	第2次飯田市教育振興基本計画			
		飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン			
法令・例規等	博物館法				
	飯田市美術博物館条例				
事業目的		対象	飯田市民及び下伊那郡住民		
		意図	ふるさとの自然・文化・星空・景観のすばらしさを学び、地域を大切にすることを育む		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)									
		通常投影では、星空解説、天文教育番組、オリジナル番組を投影しました。平日の予約投影では、主に園児・児童生徒を対象に情操・理科教育に適した番組を投影しました。特別投影では、時機や話題の天文現象を紹介する投影や展覧会に合わせたオリジナル番組の投影を行いました。ヒーリングプラネタリウム、プラネタリウムまつり、新作発表会等を行いました。ふるさとの自然や文化を題材にしたオリジナル番組として「風越山」を制作しました。天文講座の開催の他、地域・学校の観望会や宇宙留学サマーキャンプを支援しました。	専門研究員等賃金	6,574	一般番組制作(委託)	3,888	オリジナル番組制作(委託・旅費・消耗など)	2,048	チラシ・リーフレットなど(印刷)	603	協議会研修関係(旅費)	168	機器保守管理費	562	著作権料・事務・管理費	495	その他の経費
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績										
	プラネタリウム観覧者数	人	13,533	13,497													
	プラネタリウム投影回数	回	952	858													
	ドームイベント回数	回	19	11													
	オリジナル番組制作数	本	1	1													
	天文宇宙教育回数	回	12	16													
29年度決算(千円)	予算額	14,628	特定財源内訳及び補足事項														
	決算額	14,338	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備) (4.5/10)														
	財源の状況	国庫支出金	2,090	(そ)ふるさと寄附金 600千円													
		県支出金	0	(そ)美術博物館観覧料 1,201千円													
		地方債	0														
		その他	1,801														
一般財源	10,447																

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	25	8,785	8,666	プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	11	26	5,843	5,672	プラネタリウムオリジナル番組制作事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> デジタルプラネタリウム設置後7年が経過し、制御部分(コンピューター)が原因で投影に支障をきたしたり、新規格の映像が組み込めなかったりする事態が発生しています。機器更新計画を定めて対応していく必要があります。 オリジナル番組の制作や新たな活用方法の調査研究を継続し、今後の方針づくりに取り組んでいく必要があります。 地域の要請に応じて、天文宇宙教育等の取組を強化していく必要があります。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> デジタルプラネタリウム設置後の活動を総括し、第2次飯田市教育振興基本計画と飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プランに沿った新たな事業方針を作成します。 新たな事業方針の下で、機器更新計画や事業計画を作成します。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 現在の事業計画に基づき、プラネタリウム投影、オリジナル番組の制作、天文宇宙教育等の取り組みを進めながら、新たな事業方針を作成します。 							